



●本資料を無断で複製転載することを禁じます。

技術マニュアル 本体編

FMI コーヒーマシン

形名 CT-ONE

このたびは弊社製品をお買いあげいただきありがとうございました。
お求めの製品を正しく使っていただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。
製品の正しい製品知識と取扱により、末永くご愛用いただけますようお願い申し上げます。





1. 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

警告表示の種類と意味

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

● 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	誤った取扱いをしたときに、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容です。

● 守っていただく内容について、絵表示で説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		改造禁止		接触禁止	
			火気厳禁			
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。		アース接続			
			電源プラグを抜く			
	このような絵表示は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。		破裂注意		感電注意	
			指をはさまないように注意			
			発火注意		高温注意	

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

警告



- 開梱、据付け、移動は、専門の据付け技術者またはお買上げ先に依頼してください。不完全な据付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。
- 製品重量に充分たえられる丈夫で水平な床やテーブルに据付けてください。不完全な据付けは転倒や落下によるけがの恐れがあります。
- 扉を開けて清掃、修理、メンテナンスを行う場合は、電源を切ってから行ってください。電源を切らずに作業を行うと感電、火災、けがの恐れがあります。
- 修理、廃棄は専門の修理技術者またはお買上げ先に依頼してください。修理部品は純正部品をご使用ください。修理に不備があると感電、火災、けがの恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

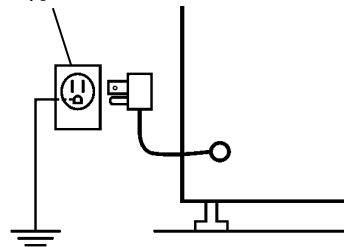


- 安全のため、アースを必ず接続してください。
アースが不完全な場合は、感電の恐れがあります。
- アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。
感電や火災の恐れがあります。

- この製品は水を扱う機械であり、未然に事故を防止するために漏電しゃ断器を
設けています。
漏電しゃ断器は漏電した事を察知すると直ちに電気を止めるための安全装置です。
- アースを取付けないと、漏電しゃ断器が正しく動きません。
必ず取付けてください。
- アース工事はお買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

アース付きコンセントのとき

アース付コンセント



- 機械の上に乗ったり、揺すったり、傾けたりしないでください。
転倒事故の恐れがあります。
- 上には物を置かないでください。
落下事故の恐れがあります。
- 本体や電源プラグ、コード、コンセントに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしないで
ください。
感電や火災の恐れがあります。
誤って水をこぼしてしまった場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから
抜き、専門の修理技術者、またはお買い上げ先へ連絡してください。
- 水に浸かった電気部品はそのまま使用しないでください。水分、泥、ごみ等を完全に除去
して絶縁が回復していることを確認してから修理専門技術者が組立ててください。
感電や火災の恐れがあります。
- 子供達の遊び場に放置しないでください。
転倒事故によるけがの恐れがあります。



- 濡れた手で電源プラグや内部のスイッチを操作しないでください。
感電の恐れがあります。
- 電源コードを破損したり、重いものを乗せたり、加工したり、引っぱったりしないでください。
破損して、感電や火災の恐れがあります。
- 電気部品は水をかけたり、水洗いしたりしないでください。
感電の恐れがあります。



- シンナーなどの可燃物や可燃性ガスを製品の近くで使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- 内部にラッカー、ペイント、シンナー、可燃性スプレーなどの可燃物を入れないで
ください。また、近くで取扱わないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- 周辺で、都市ガスなどのガス漏れが発生した場合は製品や電源プラグには触れずに
窓を開けて換気を行ってください。
爆発、火災、火傷の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告



- 無断で本機を改造しないでください。
事故発生の恐れがあります。



- 異臭・発煙・発火等の異常時は、直ちに電源プラグを抜き、専門の修理技術者またはお買上げ先に連絡してください。
異常のまま運転を続けると感電、火災の恐れがあります。

⚠ 注意



- つぎのような場所に据付けるときは、お買上げ先にご相談ください。
 - ・揺れや振動の多い場所
- つぎのような場所に設置するとき、法律に適合しなければなりません。
適合条件が不明なときには、所轄の官庁にご相談ください。
 - ・防災の妨げとなる場所
 - ・消防用設備の周辺
 - ・可燃物や可燃性ガスを扱う場所(ガソリンスタンド等)
 - ・避難用の道路及び施設
- 警告表示類は常に正しく読めるように清掃や貼り替えをしてください。
見にくくなると事故発生の原因になります。
- 清掃するときは、コンテンツに従って清掃を行ってください。
コンテンツに従わずに作業すると感電、火傷、けがの原因になります。
- 清掃などで取りはずした配管部品(飲料ホースなど)は、元の状態に戻してください。
- ホースは15mm以上差し込んでください。
15mm以上確保できないホースは根本まで差し込んでください。
水もれ事故の原因になります。
- 長期間ご使用にならない時は、必ず排水して電源プラグをコンセントから抜いてください。
水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。
- 子供だけで使用したり、幼児の手が届く所で使用しないでください。
火傷の原因になります。
- 本機を廃棄するときは、専門の業者またはお買上げ先へ依頼してください。
放置による環境汚染や事故発生の原因になります。
- ホース劣化の恐れがあるため、サニテーション時にお湯を使用する際は、40℃以下でお使いください。
- モニタに強い衝撃や振動を与えないでください。
強く押ししたり、先のとがった物で押さないでください。
事故発生の原因になります。
- 当社指定の清掃方法に従った日常衛生管理をしてください。
不適正な日常衛生管理は事故発生の原因になります。
- 製品の輸送は正規の梱包状態で行ってください。
「はだか」での輸送は、製品の傷付き、部品の故障等によるトラブルの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意



- 国内で使用する目的で設計されています。国外で使用すると、電源電圧が異なり、発火、発煙、焼損の原因になります。
- 次のような場所の機外配管は保護をしてください。
 - ・50℃以上の高温部や湯のかかる場所
 - ・踏みつける恐れのある場所
 - ・ねずみ等にかじられる場所
 配管の破れ等により、水もれの原因になります。
- 上に重い物や水の入った容器などを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因になります。



- 電源容量は必ず機器の定格に合わせてください。許容電圧・電流の小さい電源を使用すると、火災の原因になります。
- 電源コンセントは他の製品と共用しないでください。延長コードの使用やたこ足配線は、火災の原因になります。
- 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
- 電源コードは束ねて使用しないでください。発熱して火災や感電の原因になります。



- 電源コードの被覆が溶けることがありますので熱器具を近づけないでください。火災、感電の原因になります。
- 漏電しゃ断器は月に1回以上テストボタンを押して電源が切れることを確認してください。切れない場合は専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。使用を続けると感電の原因になります。
- 漏電しゃ断器がたびたび動作したときは、専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。使用を続けると感電や火災の原因になります。
- モニタは、水や湯をかけたり、洗ったりしないでください。破損して、感電や火災の原因になります。



- 内部の動作部に触れないでください。けがの原因になります。
- 破損したモニタには素手で触れないでください。けがや中毒かぶれの原因になります。
- 誤って破損したモニタを触ったり、目や口に入ったときはすぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



- 温水タンク、加熱装置およびその接触部分にさわらないでください。高温のため火傷の原因になります。
- 熱湯が出ますのでそそぎ終わるまで手を入れないでください。火傷の原因になります。
- 排水ホースから熱湯が出ますので注意して使用ください。火傷の原因になります。

2. 製品の仕様

仕様表

種	類	コーヒーマシン	
形	名	F CMD 3 0 0 ML	
本 体	製 品	外形寸法	幅300mm×奥行580mm×高さ690mm ※キャニスタ含む高さ745mm
		製品質量(乾燥状態)	42kg
		稼働時質量(使用状態)	47kg
	梱 包	外形寸法	幅430mm×奥行950mm×高さ770mm
質量		48kg	
販売ステージ		販売中ステージカバーロック機能 ステージカバー閉検知機能 カップ有無検知機能	
メニュー表示		最大36	
販 売 機 構	原料搬出方式	コーヒー豆：スクリュースタック搬出式+ミル	
	原料収容量 (重量は原料により 多少異なります)	コーヒー豆：1.8L(500g)×3	
	コーヒープリユア	<方式>微加圧抽出方式 <フィルタ>超微細メッシュフィルタ <ミル>カッタ：カッピング方式	
定 格	電源	単相100V, 50/60Hz, 15A	
	消費電力	1100W	
制 御 装 置	入力装置	LCDタッチパネル方式, リモコン方式	
	サニタリー機能	手動リンス, オートリンス, 薬剤リンス	
加 熱 装 置	有効容量	温水タンク3.0L	
	ヒータ	メインヒータ：1000W	
	温度過昇防止装置	沸とう防止サーモスタット, 空だき防止サーモスタット付き	
給 排 水	給水方式	水道直結方式	
	排水トレイ	有効容量：1.0L 排水トレイ有無検知センサ付き	
	グラウンズ容器	廃棄量：450g グラウンズ容器検知センサ付き	

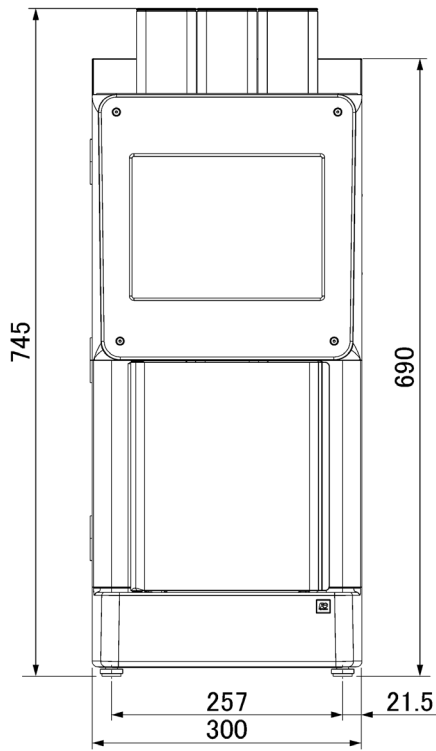
本仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

同梱品

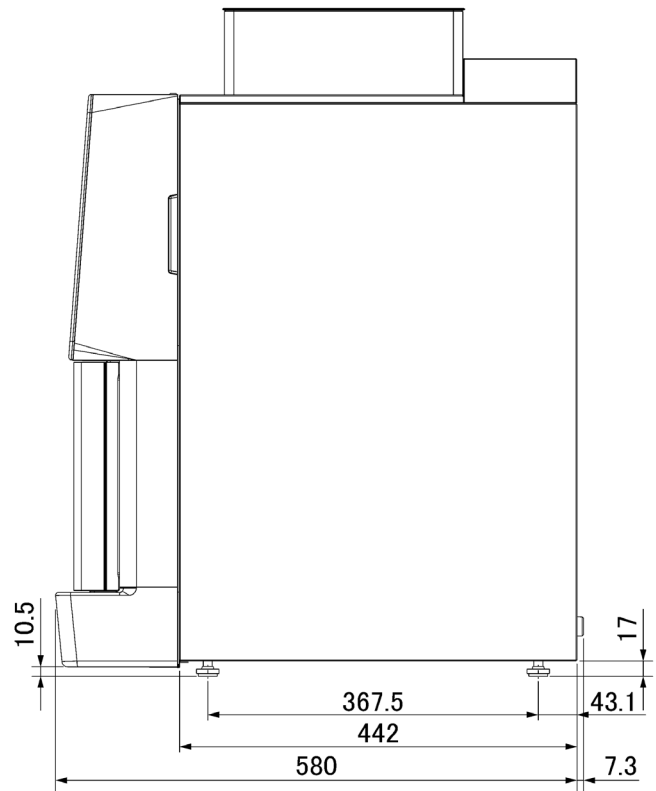
ニップル(RC1/2-U5/8)	豆キャニスタ (上部)	蓋 (豆キャニスタ)
3FE2W33002000 × 1個 	YDM53T3P019 C01 × 3個 	YDM53T4P020 C01 × 3個 
ガスケット	豆キャニスタ用ラベル	黒ブラシ
8732821010201 × 2個 	YDM53H5P251 C01 × 1枚 	YDM53F5M228 C01 × 1個 
細白ブラシ	白ブラシ	白L型ブラシ
YDM53F5M228 C02 × 1個 	YDM53F5G101 C01 × 1個 	YDM53F5P228 C01 × 1個 
キャニスタ出口キャップ	保証書	取扱説明書
5FE2W08000300 × 1個 	YDM53H4N778 C01 × 1枚 	YDM53H5P115 C01 × 1冊 

外形寸法図

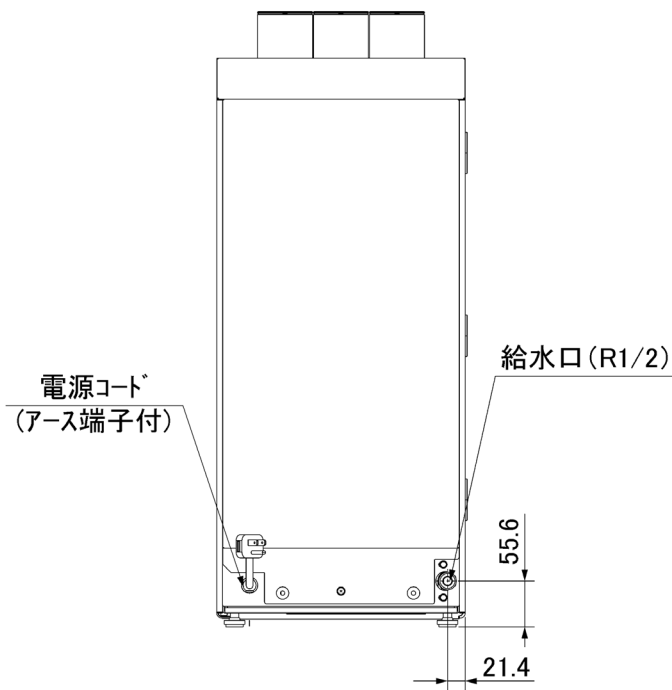
YDM59Z4A024 C01



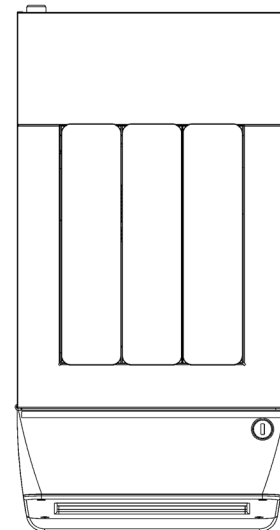
正面図



側面図



背面図



上面図

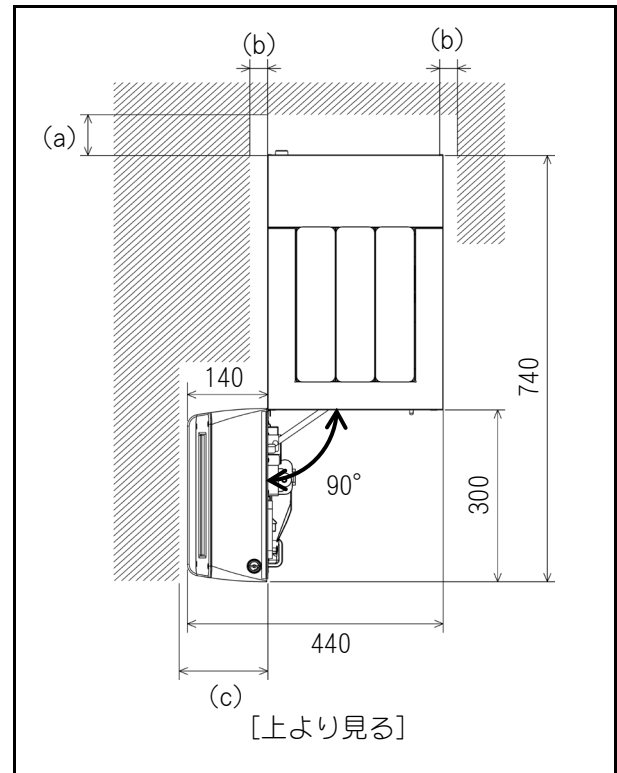
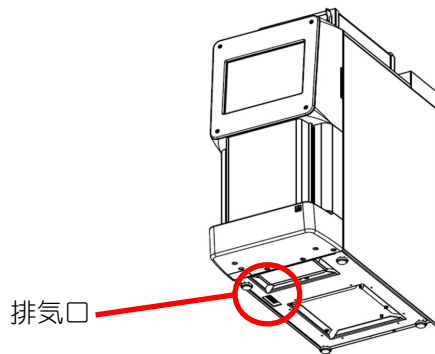
据付け場所

(1)必要なスペース

コーヒーマシンの据付け場所は、通気のため、つぎに示すスペースを確保してください。

(a) 背面のスペース	70mm
(b) 側面のスペース	30mm
(c) 左側面のスペース(扉90°開)	150mm

[!] 本体底面に排気口がありますので、製品の下には何も置かないでください。



(2)設置環境

- ・周囲温度 : 5～32℃
(給水温度)
- ・湿度 : 90%以下
- ・電源電圧 : 90～110V
(アース付3P電源コンセント使用)
- ・設置耐荷重 : 80kg以上

[!] 直射日光の当たらない場所に設置してください。

(3)設置する標高で設定温度を見直してください

温水タンクの湯温調温度設定は右表を参照の上、沸点以下に設定してください。
設定温度が高すぎるとノズルより熱湯や蒸気が吐出する恐れがあります。

設置標高	沸 点	温調設定の目安
0 m	100℃	96.0℃以下
200 m	99.3℃	95.0℃以下
400 m	98.7℃	94.0℃以下
600 m	98.0℃	94.0℃以下
800 m	97.4℃	93.0℃以下
1000 m	96.7℃	92.0℃以下
1200 m	96.0℃	92.0℃以下
1400 m	95.4℃	91.0℃以下
1600 m	94.7℃	90.0℃以下
1800 m	94.0℃	90.0℃以下
2000 m	93.4℃	89.0℃以下

各部の名称



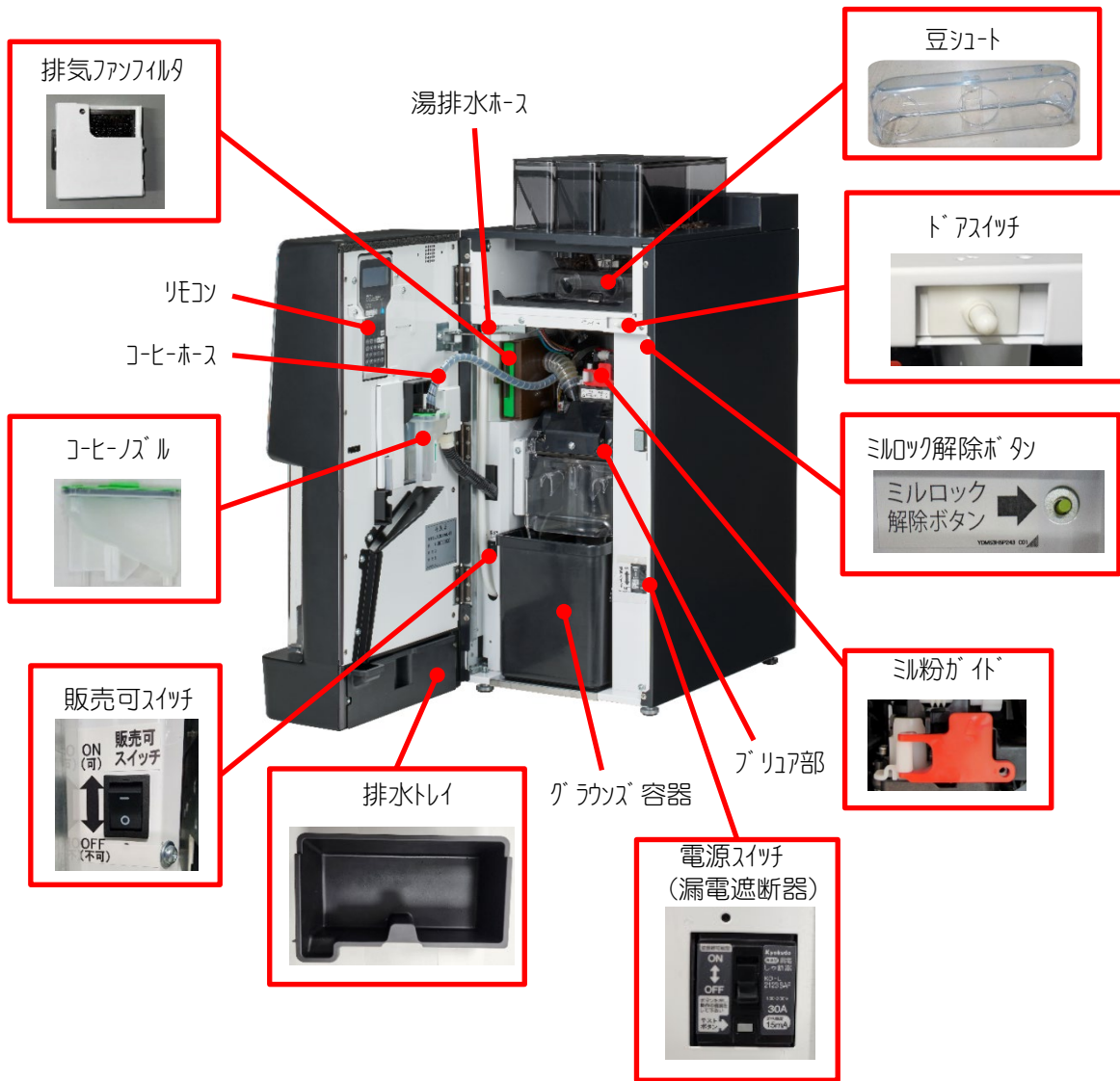
販売ステージ部



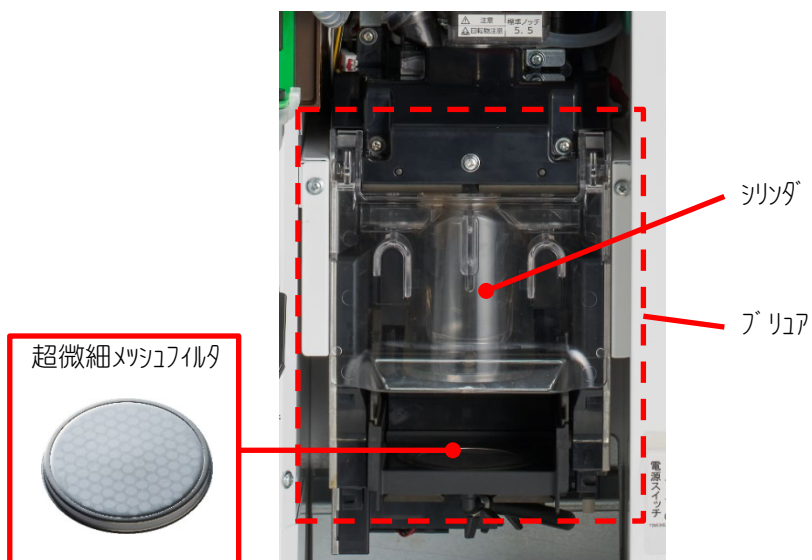
※使用できるカップサイズやカップ有無検知等はP4-03を参照してください。

各部の名称

本体正面(扉開)

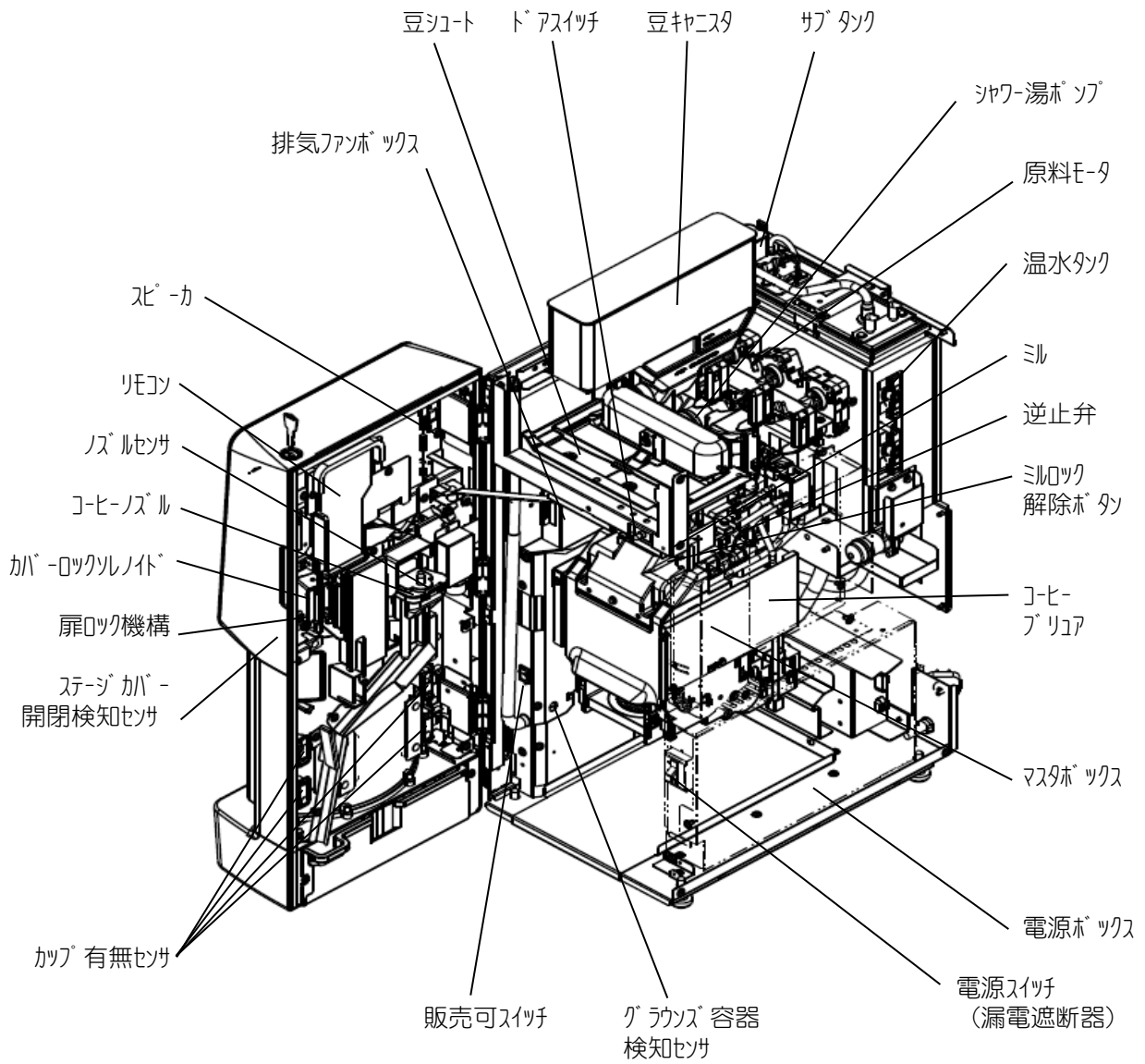


ブリュア部拡大



内部の名称

内部構造図



リモコンについて

(1)外観



〈待機画面の説明〉

現在の温水タンク

湯温

1 2 - 2 0	S U N	1 5 : 2 0
ユ オ ン	9 3 ° C	N o . 0 2
カ ス マ ン ハ	イ マ テ	1 2 ハ イ
テ ン ケ ン キ ー	ヲ オ シ テ ク	ダ サ イ

現在の月日曜日時分

前回販売したレシピ番号

グラウンズ容器
満杯までの販売杯数

表示なし：売切・故障なし

















「テンケンキーヲオシテクダサイ」：売切または故障あり

※グラウンズ容器が満杯になる販売杯数は、最小設定の豆量でカウントします。
グラウンズ容器の容量が450gのため、豆使用量が10gの場合、45ハイとなります。

リモコンについて

(2)キーの基本操作


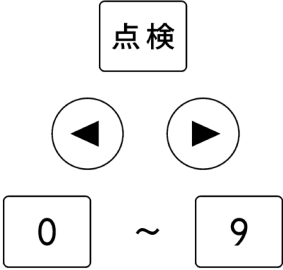

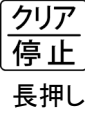

【各種設定に関するデータ設定】

	リモコンボタン	操作内容
1		4回押して、パスワード「9999」を入力します。 ※キーロック解除はドアが開いている間だけ有効です。 ドアを閉めると再びキーロックされるのでご注意ください。
2		各種設定を行う際、一番最初に押します。
3	    ~ 	左のキー／ボタンいずれかを押し、設定変更を行いたい項目にカーソルを合わせます。
4	 	変更したい設定項目にカーソルを合わせます。
5		[データ入力]ボタンを押します。
6	   ~ 	左のキーを押して、設定したい内容を選択あるいは設定値を入力します。 ※テンキーは数値データ入力の際のみ使用可
7		[記憶／動作]ボタンを押して、設定した項目・データを確定させます。 ※押し忘れて終了すると設定データは変更前のデータが残ります。
8		

リモコンについて

(2)キーの基本操作

【現在の売切れ、故障と発生時刻の確認】

	リモコンボタン	操作内容
1		各点検を行う際、一番最初に押します。
2		左のキー／ボタンいずれかを押し、確認したい項目にカーソルを合わせます。
3		左のキーを押すと履歴等の確認ができます。
4		クリアする場合は[クリア/停止]ボタンを長押しします。
5		

3. 据 付 け

設置・立上げの作業手順

設置・立上げに必要な作業内容と作業順序を示します。作業のくわしい内容は本文をごらんください。

チェックらん：作業が完了したら「γ」印を入れてください。

1	据付け場所の確認 扉は90° 開くことができること	<input type="checkbox"/>
2	レベリング調整 機械の傾きは1° 以内のこと	<input type="checkbox"/>
3	電源・アース接続 専用コンセントに接続されていること	<input type="checkbox"/>
4	水道配管 給水圧は規定範囲内のこと	<input type="checkbox"/>
5	水配管の接続 設置完了後再度、漏れが無いことを確認すること	<input type="checkbox"/>
6	輸送用部品の取りはずし	<input type="checkbox"/>
7	輸送チューブの取りはずし	<input type="checkbox"/>
8	豆キャニスタ(上部)の取り付け	<input type="checkbox"/>
9	本体給水	<input type="checkbox"/>
10	原料の充てん	<input type="checkbox"/>
11	豆の流量調整 豆の流量を確認すること	<input type="checkbox"/>
12	湯の流量確認 3種類のデータを入力したか確認すること	<input type="checkbox"/>
13	手動リンス・薬剤リンスの実施	<input type="checkbox"/>

機械の据付け

(1)食品衛生上, 屋内に据付けてください。

食品衛生上, 屋外への据付けは禁じられています。

(2)輸送・運搬時のご注意

製品を輸送・運搬される場合は必ず扉以外の本体下部を持ってください。

[!] 上記以外の場所を持つと部品の変形及び製品落下事故の恐れがあります。

[!] 液晶画面を押したり, 衝撃を与えると, 製品が破損する恐れがあります。

(3)レベリング調整

底面には4個のレベリング調整脚がついています。

4個のレベリング調整脚を回して, 機械の傾きを前後左右とも1°以内に調整してください。

[!] 機械の傾きは, 機械の転倒及び誤動作の原因となることがあります。

(4)電源・アース接続

本機は, アース端子付の3P電源プラグです。専用コンセントに接続してください。

(5)水道配管

①水道配管工事は, 水道局の指定工事店に依頼して行ってください。

②水道と機械の間に手動のストップ弁(元栓)を必ず取りつけてください。

③水道水圧は最低0.075MPa {0.75kgf/cm²} が必要です。また最高水圧が0.4MPa {4kgf/cm²} を超える場合は減圧弁を取りつけてください。

④水道給水量は機械入口にて最低0.5L/分が必要です。

⑤凍結の恐れのあるところでは, 配管及び弁の保温工事を実施してください。

[!] 新設配管の時は, 配管内のゴミ, 臭いを取るため相当量の水を流してから(2分間程吐出)機械と接続してください。

(6)水配管の接続

本機背面の給水口にシールテープを巻き付けて, 付属のニップル(RC1/2-U5/8)を接続します。

[!] シールテープは, 水漏れしないように巻き付けてください。

(7)輸送用部品の取りはずし

扉を開けると, 小物部品をテープで止めたり, 可動部品を緩衝材で固定してる箇所があります。テープははがし, 緩衝材は取りはずしてください。

機械の据付け

(8) 温水タンクの輸送チューブの取りはずし

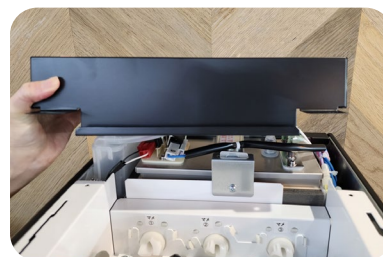
- ① 本体扉を開け、天板（前側）の固定ねじ（1本）をゆるめ、天板（前側）を手前に少しスライドさせてから、取りはずします。

固定ねじ

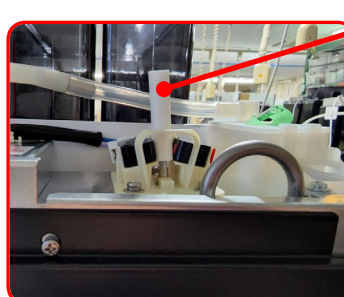
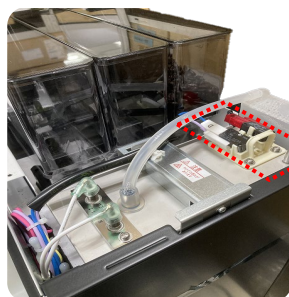


- ② 天板（奥側）の両サイドの固定ねじ（2本）をはずし、天板（奥側）を取りはずします。

固定ねじ



- ③ 温水タンク部の輸送チューブ（エフあり）を取りはずします。

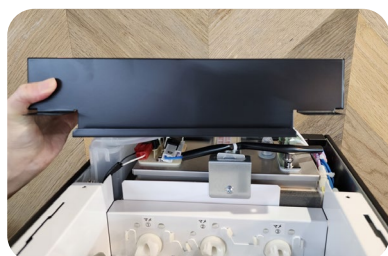


輸送チューブ



[!] 輸送チューブは撤去時、輸送時に必要となりますので大切に保管してください。

- ④ 天板（奥側）を元の位置に取りつけ、固定ねじ（2本）をしめます。



機械の据付け

(9)豆キャニスタ(上部)の取り付け

豆キャニスタ（上部）を豆キャニスタ（下部）へ取りつけます。
カチッと音がするのを確認してください。



(10)電源スイッチ(漏電遮断器)の操作

①電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーを「ON」側にします。

②販売可スイッチを「ON（可）」側にします。



(11)温水タンクへの給水

①温水タンクの適正水位まで自動的に給水されます。

②所要時間は、およそつぎのとおりです。

◇給水所要時間：約3分

◇温水タンクの沸上げ、販売可能まで約30分かかります。

[!] 温水タンク低水位、レギュラー湯温度売切れのエラーが表示されますが、本体への給水が終わり、湯が沸くとエラーは消えます。

[!] 給水圧が低いと、タンクの水が満タンになる前に給水動作を停止させ、給水異常のエラーを発呼します。その際は、電源スイッチ(漏電遮断器)をOFF/ONすることで給水動作が再開されます。

(12)食衛売切ホールドの解除



リモコンの[食衛リセット]ボタンを押して、湯の食衛売切ホールドを解除してください。

◇ボタンを押すと食衛ランプが消え、温度が68℃以上になると食衛売切が解除されます。

[!] 食衛売切ホールドの解除をしないと、売切動作のままで販売ができません。

[!] 本機設置作業後に再度、食衛売切ホールドが発生した際は、一度温水タンク内の湯を全て抜いて新しく給水してから[食衛リセット]ボタンを押してください。

機械の据付け

(13)時計データの設定(リモコン操作)

電源スイッチ（漏電遮断器）を入れると自動で時計データがセットされています。
時間がずれている場合は、リモコンを操作して、つぎの項目を番号順に設定してください。

※パスワード入力してロック解除する必要があります。

- ①テンキーを使いパスワード「9 9 9 9」を入力します。
- ②[設定]ボタンを押したあと「5 1」を入力します。
- ③[データ入力]ボタンを押します。
- ④テンキーを使い現在の日時を入力して、[記憶/動作]ボタンを押します。

(14)豆キャニスタの配列

◇配列は右記のとおりです。豆キャニスタの収容量は500gです。

※原料の重量は種類により多少異なります。

豆① 豆② 豆③



(15)原料の充てん

豆キャニスタフタを開け、コーヒー豆を充てんします。

※豆キャニスタ（上部），豆キャニスタフタは豆①豆②豆③ともに共通です。

【！】 豆キャニスタの外に原料をこぼさないように注意してください。

(16)豆原料の吐出量測定

正しい原料吐出量を得るために、実際に販売しようとする原料の吐出レート（単位時間当たりの吐出量）を測定し、このデータを記憶させる必要があります。ここでは、原料の吐出量の測定方法について説明します。

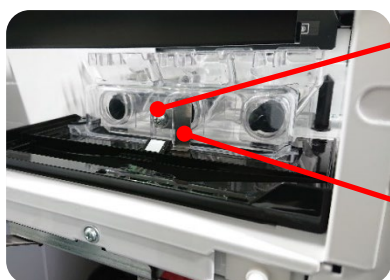
吐出量の標準データ

原 料	吐出量	吐出時間
コーヒー豆	15.0g	5.0秒

<参考>
原料を受ける容器
(カップなど)



- ①あらかじめ、はかりと原料を受ける容器を用意します。
- ②豆シュートの固定ねじ（1本）をはずし、ロック板を取りはずします。



固定ねじ

ロック板

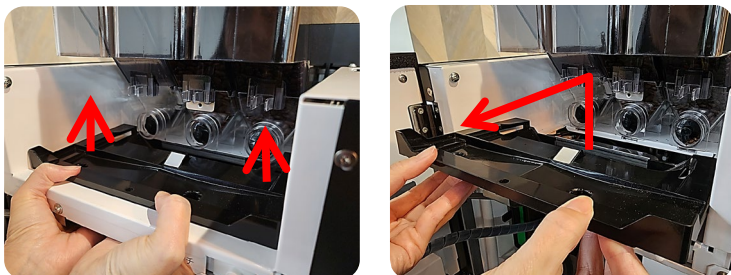
機械の据付け

(16)豆原料の吐出量測定(つづき)

③豆シュート下のロック部を押しながら、豆シュートを手前に取りはずします。



④豆シュート下の黒い板を、下から上に持ち上げるようにして取りはずします。



⑤リモコンでパスワード「9999」を入力します。


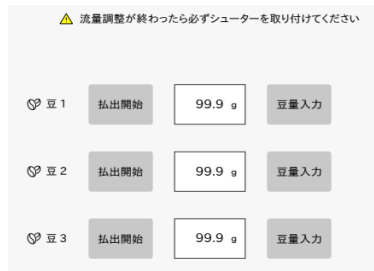

⑥モニタで操作します。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、扉開画面右上の角(★)を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	モニタ右下の「次へ」をタッチし、表示された項目の中から「流量調整」を選んでタッチします。	

機械の据付け

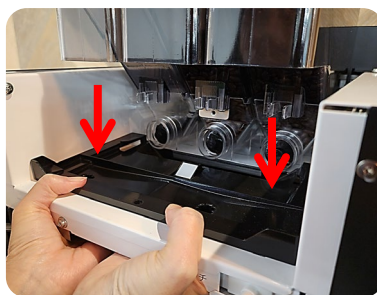
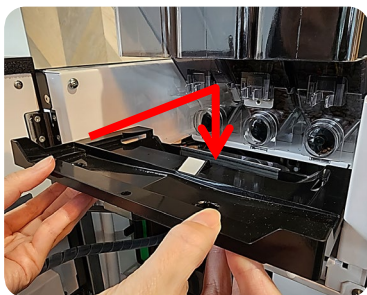
(16)豆原料の吐出量測定(つづき)

⑥モニタで操作します。(つづき)

4	「コーヒー豆」をタッチします。	
5	計測する豆キャニスタの吐出口に原料を受ける容器（前ページ写真を参照）を準備した状態で、モニタの「払出開始」をタッチします。 （5秒間コーヒー豆を吐出します） 押し間違いに注意してください。 最初の3回分は無視し、その後5回計測し、吐出量の平均を求めます。	
6	求めた吐出量の平均を入力します。 モニタの「豆量入力」をタッチするとテンキーが表示されますので、設定値を入力し右下の「決定」をタッチします。 5～6の手順を全てのキャニスタについて行います。	

[!] キャニスタの吐出口には絶対に指を入れないでください。
指が挟まれて怪我をする恐れがあります。

⑦豆シュート下の黒い板を、取付けます。



機械の据付け

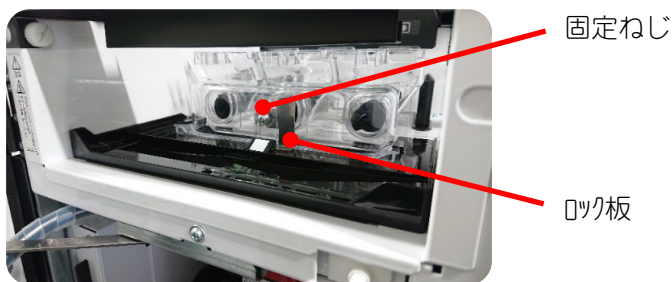
(16)豆原料の吐出量測定(つづき)

⑧豆シュートの取付け

- 1) 豆シュートの大きな開口部を下に向け、3つの丸い穴を吐出口に合わせるように、手前からスライドさせて取り付けます。
カチッと音が鳴り、確実に取り付けられたことを確認してください。



- 2) 豆シュートにロック板を取りつけ、固定ねじ（1本）をしめます。
豆シュート下のロック部が押し下がらないことを確認してください。



⑨天板を取りつけ固定ねじ（1本）をしめます。



(17)湯の流量確認

流量確認を行う場合は次の手順をレギュラー湯、シャワー湯、添加湯それぞれで行ってください。

- ①あらかじめメスシリンダを用意します。
- ②200mL以上入る容器を準備し、ノズル下にセットします。
- ③リモコンでパスワード「9999」を入力します。

※湯の温度が97℃になっているのを確認してから行ってください。（最低86℃以上）
湯の温度が低い状態で測定すると、実際に販売した時の湯量がずれる可能性があります。

機械の据付け

(17)湯の流量確認(つづき)

④モニタで操作します。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、扉開画面右上の角(★)を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	モニタ右下の「次へ」をタッチし、表示された項目の中から「流量調整」を選んでタッチします。 [!] モニタの右上に湯温が表示されています。93℃以上であることを確認して調整を行ってください。	
4	「湯」をタッチします。	
5	メスシリンダに移し湯量を測定します。 ※1回目の湯は捨ててください。ホースの乾燥状態により湯量が少なくなります。 ※3回程度測定をして平均値を求めます。 [!] 添加湯を吐出したあとのみ、動作終了画面が表示されます。 湯量を測定したあと、排水開始をタッチしてください。	
6	求めた湯量の平均を入力します。 モニタの「湯量入力」を押すとテンキーが表示されますので、設定値を入力し右下の「決定」をタッチします。	

機械の据付け

(18)配管内のリンスを実施します。

エラー項目一覧表に「手動リンス未実施アラーム」「薬剤リンス未実施アラーム」が表示されていますので画面を操作して各リンスを実施してください。

①モニタで操作します。

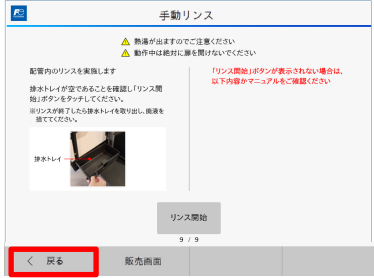

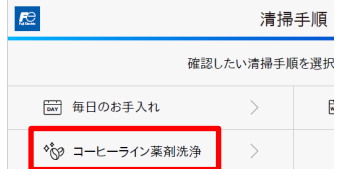
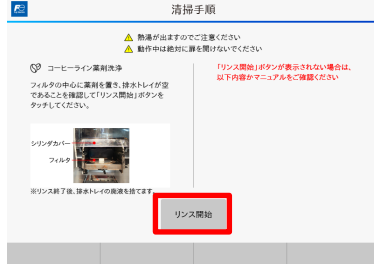


[!] 本体扉を必ず閉めた状態でリンス操作をしてください。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、販売画面右上の角(★)を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	項目の中から「手動リンス」を選んでタッチします。	
4	「リンス開始」をタッチします。 [!] 「リンス開始」が表示されない場合は、画面右側に表示される内容を確認してください。	
5	リンス中は右の画面が表示されます。(約1分程度) [!] リンス実施中は絶対に扉を開けないでください。	

機械の据付け

(18) 配管内のリンスを実施します。(つづき)

① モニタで操作します。(つづき)

6	<p>リンスが終了すると、手動リンス開始画面に戻ります。 ※下の「戻る」をタッチするとメンテナンス画面のメインメニューに戻ります。</p> <p>排水トレイにたまった廃液を捨て、元の位置に戻します。 リンスで使用した廃液が排水トレイにたまるため、廃液を捨て、元の位置に戻してください。</p>	
7	<p>項目の中から「清掃手順」を選んでタッチします。</p>	
8	<p>項目の中から「コーヒーライン薬剤洗浄」を選んでタッチします。</p>	
9	<p>排水トレイが空であることを確認して「リンス開始」をタッチします。</p> <p>※ここでは薬剤を設置せずにリンス実施OKです。</p> <p>[!] 「リンス開始」が表示されない場合は、画面右側に表示される内容を確認してください。</p>	
10	<p>リンス中は右の画面が表示されます。(約5分程度)</p> <p>[!] リンス実施中は絶対に扉を開けないでください。</p> <p>[!] リンス実施中に扉を開けた場合はリンスが中断します。 薬剤を置かずにリンスを再開してください。</p>	
11	<p>リンスが終了すると、コーヒーライン薬剤洗浄の画面に戻ります。 ※下の「販売画面」をタッチして販売画面に戻ります。 排水トレイにたまった廃液を捨て、元の位置に戻します。 リンスで使用した廃液が排水トレイにたまるため、廃液を捨て、中性洗剤を使用してスポンジ等で洗って元の位置に戻してください。</p>	

販売ステージカバーをはずして使用する場合

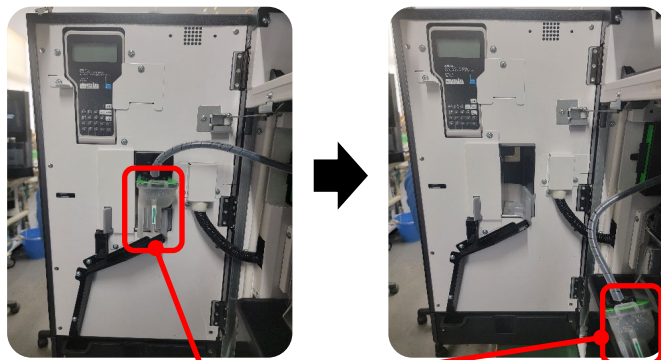
ステージカバーをはずして販売する場合

(1) 電源スイッチ(漏電遮断器)をOFFする

- ① 電源スイッチ(漏電遮断器)をOFFします。

(2) 扉の背板の取りはずし

- ① 『コーヒートラック』を扉からはずし、一旦、どこかに退避させておきます。



コーヒートラック (退避例: グラス容器内)

- ② ねじ(タップタイトネジ)を16個はずして、『背板』をはずします。



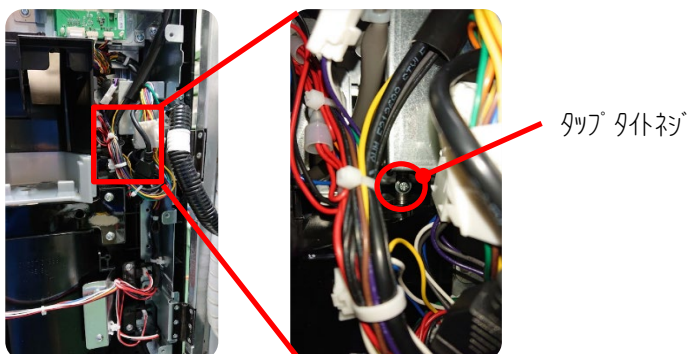
ステージカバー

販売ステージカバーをはずして使用する場合

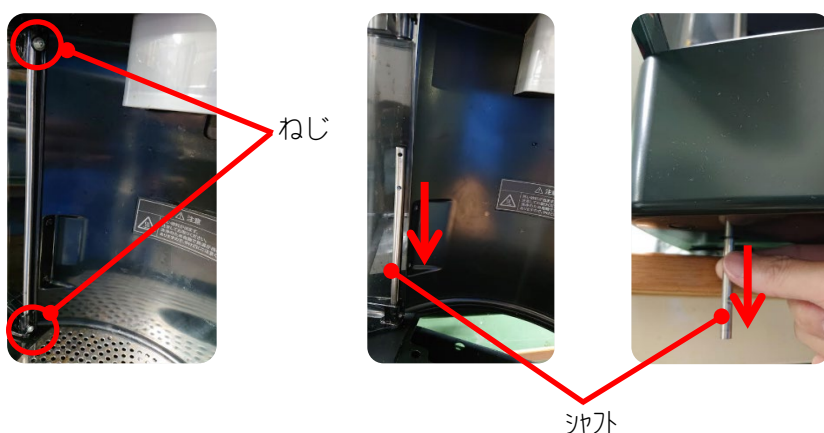
ステージカバーをはずして販売する場合

(3)ステージカバーの取りはずし

①ねじをはずします。



②ステージカバーのシャフト部のねじ2個をはずしシャフトを下に抜き、ステージカバーをはずします。



(4)背板の取付け

(2)の逆の手順で背板等を取りつけます。

※部品取り付け時、配線を部品で噛みこんだり、ねじで傷つけないようにご注意ください。

(5)電源スイッチ(漏電遮断器)をONする

①電源スイッチ(漏電遮断器)をONします。

(6)リモコン設定

リモコンで「ステージカバー無し」に設定する必要があります。
この設定をしないと、ステージカバーが開いていると判定し、販売動作ができなくなります。

①リモコン設定項目69のセンサ設定で、ステージカバーセンサを”ナシ”に変更します。
(キーの基本操作はP2-09、項目情報はP9-02を参照してください)

[!] 安全を考慮しオートリンスの設定は無効となります。

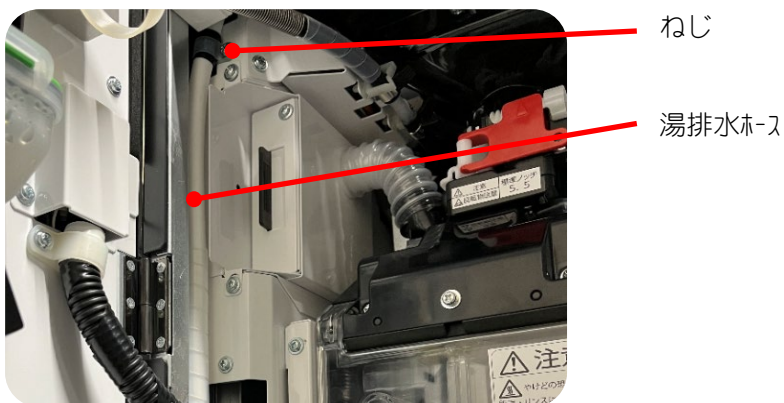
※抽出動作中の飲料の跳ねにご注意ください。

販売を3日以上停止する場合

衛生面の観点から、湯タンク内のお湯を排水します。

- ①「毎日のお手入れ」～「週1回のお手入れ」までのすべてについて行います。
- ②豆キャニスタ内の豆を全て取出します。
(P 8-07「コーヒー豆の交換手順」(1)～(4)を参照してください。)
- ③コーヒーマシンの電源スイッチ(漏電遮断器)をOFFにします。
- ④湯タンクの湯を抜きます。
10リットルくらい入るバケツを用意します。

本体扉を開け、左側面にある湯排水ホース(白)のねじをはずして取出します。



ゴム手袋をした状態で、湯排水ホースを折り曲げ先端のキャップをねじってはずし、湯タンク内の湯が抜けきるまでバケツで受けてください。

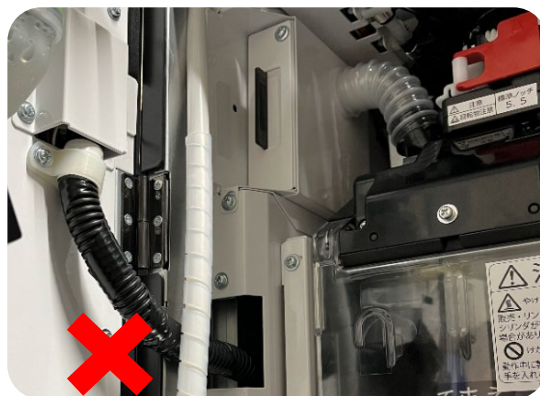


[!] 熱湯が出てきますので、火傷に注意してください。

[!] 排水作業時に湯排水ホースが熱くなりますので火傷に注意してください。

※湯は約3リットル排水されます。

湯排水ホースを元の位置に戻してください。



湯排水ホースは扉配線の奥を通してください。

販売を3日以上停止する場合

⑤温水タンク下の給水ポンプ(ブリュア)のホースをはずし、中の水を抜いてください。
下記の<給水ポンプ(ブリュア)のホースのはずし方>を参照してください。

⑥洗浄・殺菌終了後、本体内・外部とも充分乾燥させます。

⑦ビニールカバーなどを本体にかけます。

◇移設等で機材を撤去する場合は、次の手順も行ってください。

- ・天板をはずし、輸送用保護チューブを取付けます。
P 3-03「温水タンクの輸送チューブの取りはずし」を参照してください。
- ・梱包テープ、梱包用緩衝材を取付けます。

<給水ポンプ(ブリュア)のホースのはずし方>

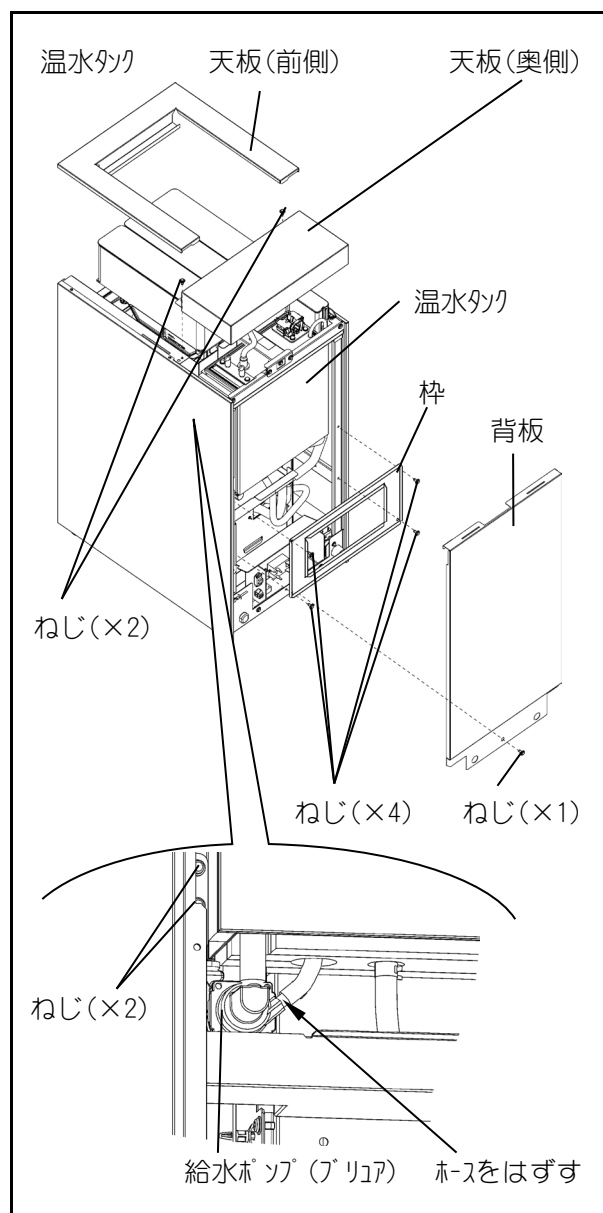
①固定ねじ1本をゆるめて、天板(前側)を取りはずし、ねじ2本をはずし、天板(奥側)を取りはずします。(詳細はP 3-03参照)

②ねじ1本をはずし、背板を取りはずします。

③ねじ4本をはずし、枠を取りはずします。

④ねじ2本をはずし、給水ポンプ(ブリュア)のホースをはずし、水抜きを行います。

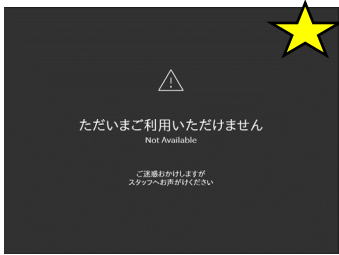
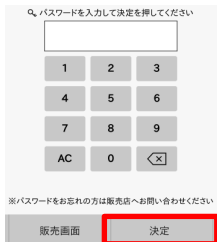

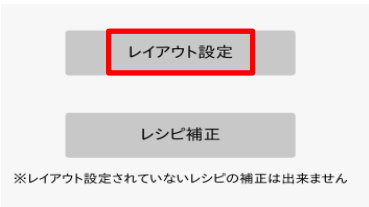


⑤上記の逆手順で元に戻します。



4. 販売準備

販売画面レイアウト設定

- ①リモコンでパスワード「9999」を入力します。
- ②モニタで操作します。

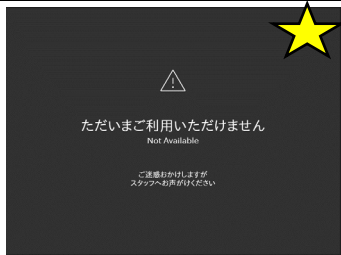
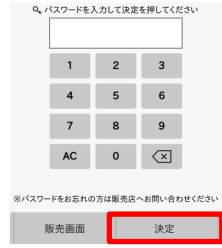

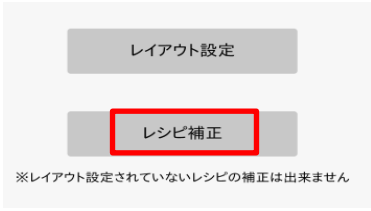


No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、扉開画面右上の角(★)を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	モニタ右下の「次へ」をタッチし、表示された項目の中から「販売画面設定」を選んでタッチします。	
4	「レイアウト設定」をタッチします。	
5	メニューを表示させたい場所をタッチします。	
6	<p>本体に設定されているメニューが表示されますので、その中から選択します。</p> <p>※同じメニューを複数個所にレイアウトすることは可能です。(右上と右下等)</p> <p>※未設定箇所は、販売画面に何も表示されません。</p>	

レシピ補正

レイアウト設定されているレシピの補正（豆量±2g，湯量±10ml）が出来ます。

①リモコンでパスワード「9999」を入力します。

②モニタで操作します。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、扉開画面右上の角（★）を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	モニタ右下の「次へ」をタッチし、表示された項目の中から「販売画面設定」を選んでタッチします。	
4	「レシピ補正」をタッチします。	
5	レイアウト設定されている商品一覧が表示されますので、補正するレシピを選択します。 ※レイアウト設定をしていない場合、商品一覧は表示されません。	
6	「標準」が選択されているので、左右にある「±」で補正値を設定します。 「テスト」をタッチすることで、実際に販売したときの味の確認ができます。 ※豆キャニスタの豆をブレンドしている場合、若い番号の豆キャニスタから補正します。	

対応容器について

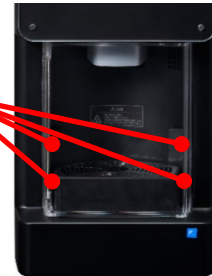
カップ有無検知(出荷時の設定はON)

販売ステージ部の左右4カ所のセンサで容器の有り無しを検知します。
 検知しない容器を置くと、販売動作は行いません。
 対応容器サイズは一覧表を参照ください。

対応容器サイズ一覧

容器高さ	販売可否
60mm以下	販売できません
60～120mm	置台ありで販売推奨
120～180mm	置台なしで販売可能
180mm以上	販売できません

カップ有無
検知センサ



※センサが汚れていると検知しない場合がありますのでご注意ください。

※センサ位置(120mm)より低い容器には付属の「置台」を使用してください。
 60～120mmの容器は置台なしでも販売できますが飲料の跳ねで汚れる場合があります。

※60mm以下の容器は、置台の有無にかかわらず検知できません。

※透明な容器は検知しません。60mm以下の容器や透明な容器をご使用になられる場合は、
 カップ有無検知を無効に設定してください。
 (カップ有無検知の設定はP9-02「69センサ設定」を参照してください。)

[!] 耐熱カップを使用してください。カップが変形する場合がありますので、火傷に注意してください。

[!] カップの容量より多い飲料を販売するとカップから溢れステージカバーの下側から庫外へ飲料がもれる場合がありますので注意してください。

5. 日常の取扱いと定期的清掃

販売画面

(1)販売画面

コーヒー豆 売り切れ表示

コーヒー豆売り切れ対象のキャニスタをモニター上部に表示します

メニュー選択

メニューを選択すると対象メニュー画像のアウトラインが白に変わり抽出を開始します

高温注意表示

モニタの表面温度が53℃になると注意メッセージを表示します


売切れメニュー

売切れ対象メニューをグレースケールで表示します

未設定

レイアウト設定されていない箇所は表示されません

ページ表記



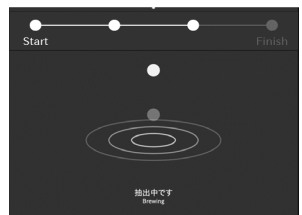
(2)販売方法

- ①ステージカバーを開けます。
※モニタ：待機動画
もしくはメニュー表示
- ②容器をセットします。
※モニタ：待機動画
もしくはメニュー表示
- ③メニューを選びます。
※モニタ：メニュー表示



※待機動画時にモニタをタッチしないとメニュー選択画面へ切り替わりません。

- ④抽出中
※モニタ：抽出中動画



完成までの時間イメージをインジケータで表示します。

- ⑤抽出完了（ブザーがなります）
※モニタ：できあがり動画



- ⑥ステージカバーを開け容器を取出します。



日常の取扱い

(1) グラウンズ容器満杯時の対応

※グラウンズとは、抽出後のコーヒー豆のことです。

グラウンズ容器が満杯になると、モニタとアラーム音でお知らせし、販売不可の状態になります。下記の作業を実施してください。



本機で販売を行った場合、使用豆量が450gを超えるとグラウンズ容器が満杯となります。その際は、つぎの作業を行ってください。

(作業手順はタッチモニタにも表示されます)

- ① 本体扉を開け、グラウンズ容器を取出し、グラウンズを捨てます。
- ② グラウンズ容器を取出した後、本体底面を清掃します。
- ③ グラウンズ容器をぬるま湯または中性洗剤を使用してスポンジ等で洗い、水気を切ります。
- ④ グラウンズ容器を元に戻し、リモコンの[カスリセット]ボタンを押します。
※ピッと音が鳴ったらグラウンズ容器のリセットが完了です。
ボタン上のグラウンズ容器満杯ランプが消灯します。



グラウンズ容器

[グラウンズ容器満杯]ランプ

リモコン画面

1 2 - 2 4	SUN	1 5 : 2 0
ユオン	9 3 ° C	No. 0 2
カスマンハ°イマテ		3 0 ハイ
テンケンキーヲオシテクタサイ		

[カスリセット]ボタン



※表示画面で0ハイでないことを確認してください。

[!] グラウンズを廃棄せずにリモコンの[カスリセット]ボタンを押すと販売に支障をきたす恐れがあります。

[!] グラウンズ容器を本体より完全に取り出さないと[カスリセット]ボタンでリセットできません。必ず一度グラウンズ容器を取り出してください。

[!] 販売に支障をきたす恐れがありますので、ビニール袋などを使用しないでください。

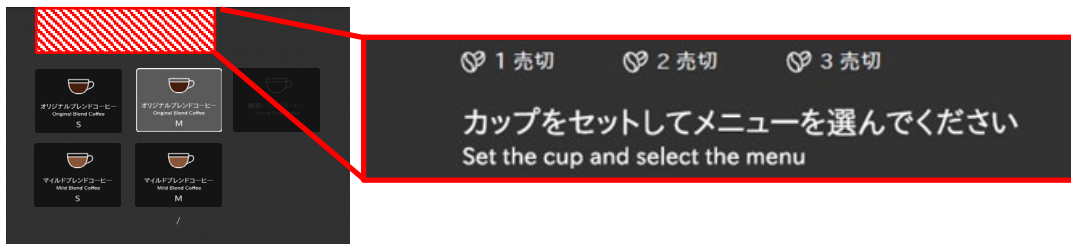
[!] グラウンズ容器が満杯になる前に廃棄・清掃した場合も[カスリセット]ボタンを押してリセットを行ってください。

状態	使用豆量	タッチモニタ表示画面	リモコンのグラウンズ容器満杯ランプ	販売可否
グラウンズ容器満杯予告	400g		消灯	販売可
グラウンズ容器満杯 (以後の販売中止)	450g	グラウンズが満杯 になっています	点滅	販売不可

日常の取扱い

(2) コーヒー豆が売切れた時の対応

豆キャニスタ内のコーヒー豆が少なくなるとセンサにより売切れを表示します。
該当の豆キャニスタのフタを開けて、豆を補充してください。



[!] 豆キャニスタの外に原料をこぼさないように注意してください。

豆の補充が終わると売切れていた商品メニューが販売できる状態に戻ります。

豆売切れ表示をOFFにする場合はP 9-01「4 1豆売切れ検知設定」を確認してください。

コーヒー豆の種類によってはキャニスタ内の豆が偏り、豆がある状態なのに
売切れ表示される場合があります。
豆の減り方を確認しながら豆の補充を行ってください。

[!] キャニスタ内に豆があっても売切れを表示する場合は、
キャニスタ内の豆をかき混ぜて売切れを解除してください。

豆の偏りによる売切れの解除



日常の取扱い

(3) 売切／故障エラーで販売できない時の対応

売切・故障エラーが発生するとアラーム音が鳴り、右の画面がモニタに表示されます。

※アラーム音量を”なし”に設定している場合、アラーム音は鳴りません。



本体扉を開けると、売切れまたは故障エラー一覧がモニタに表示されます。

①売切れまたは故障エラーの項目が表示されるので、確認したい項目を選択してください。

②選択した項目の解除方法が表示されます。指示に従って機械を操作してください。

売切れまたは故障エラーが全て無くなると販売画面に戻ります。

豆売切れなど発生時、売切れ状態のまま販売を継続する場合には「販売画面」をタッチして販売画面に戻ってください。

故障エラー一覧表示例

売切/故障	
確認したい項目を選択してください	
001 メモリデータ異常 >	021 温水タンク過昇検知 >
002 時計データ異常 >	022 沸騰検知 >
006 10年メンテナンスアラーム >	030 プリュアフィルタブロック上昇異常 >
011 湯温度センサ不良 >	031 プリュアフィルタブロック下降異常 >
012 LCD温度センサ不良 >	034 ピンチクローズ異常 >
013 圧力センサ不良 >	035 ピンチオープン異常 >
< 戻る	販売画面

(4) しばらくお待ちくださいの画面がでた時の対応

温水タンク内の温度が下がって湯を沸かしている時、温水タンクへ給水している時、扉が開いている時、は右の画面がモニタに表示されます。

故障ではありません。
時間経過とともに販売画面に戻ります。



日常の取扱い

063ミルモータロック解除方法

売切れ/故障コード一覧で063ミルモータロックが表示されたら以下の手順に従って解除をしてください。

ミルモータロック解除手順	
(1)	電源スイッチ（漏電遮断器）をOFF
(2)	ミル粉ガイドの取りはずし
(3)	周辺コーヒー粉の清掃
(4)	ダクトホースの清掃
(5)	排気ファンフィルタの清掃
(6)	ミル粉ガイドの取り付け
(7)	ミルロック解除
(8)	電源スイッチ（漏電遮断器）をON
(9)	ミルテストの実施
(10)	配管内のリンスの実施

(1)電源スイッチ(漏電遮断器)をOFFにします。

本体扉を開け、右側にある電源スイッチ（漏電遮断器）をOFFにします。



(2)ミル粉ガイドをはずします。

ミル粉ガイドを左に開き、上に持ち上げるようにして取りはずします。

ミル粉ガイド



(3)ミル周辺のコーヒー粉を取り除きます。

乾いた白L型ブラシを使用して、シリンダへの通路を清掃します。

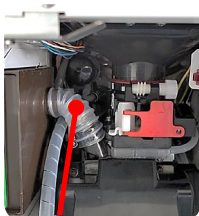
周辺のコーヒー粉、ミル粉ガイドに付着したコーヒー粉を乾いた黒ブラシで取り除きます。

(4)ダクトホースをはずし清掃します。

①ミル粉ガイドの左にあるダクトホースの先端（黒）を左にスライドし取りはずします。

②乾いた黒ブラシを使用し、ダクトホースに付着したコーヒー粉を清掃します。

③ダクトホースの先端（黒）を右にスライドし取りつめます。



ダクトホース



黒ブラシ



ホース先端部を
左にスライドさせ
ロックを解除



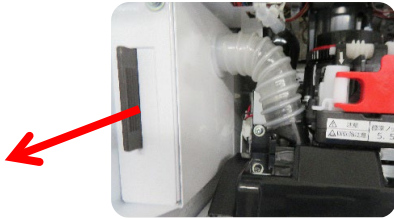
ホース先端部を
右にスライドさせ
取付ける

日常の取扱い

063ミルモータロック解除方法(つづき)

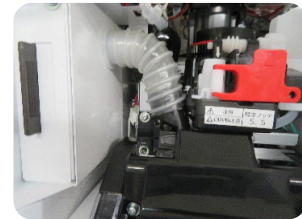
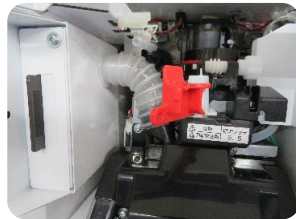
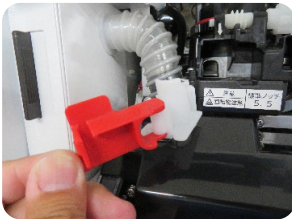
(5)排気ファンフィルタの清掃

左上部にある排気ファンフィルタを取り出します。
フィルタ内のコーヒー粉を捨ててから、取りつけてください。
(詳細はP 5 - 1 5, 1 6「排気ファンの停止」「排気ファンフィルタの清掃」を参照してください)

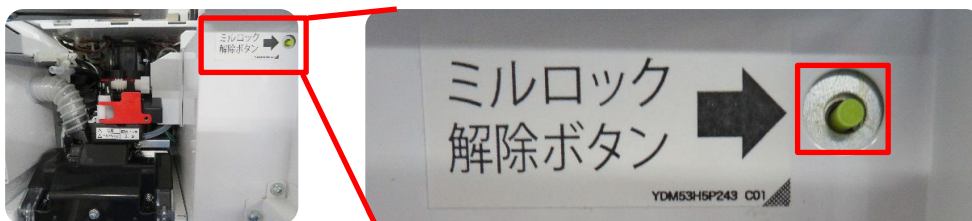


(6)ミル粉ガイドを取りつけます。

ミル粉ガイドを元の位置に取りつけます。



(7)ミルロック解除ボタンを押します。



(8)電源スイッチ(漏電遮断器)をONにします。



(9)ミルテストを実施します。



リモコンの[ミルテスト]ボタンを押し、ミルモータを動作させます。
この作業を2回繰り返します。(ミル内のコーヒーがなくなると音が軽くなります)

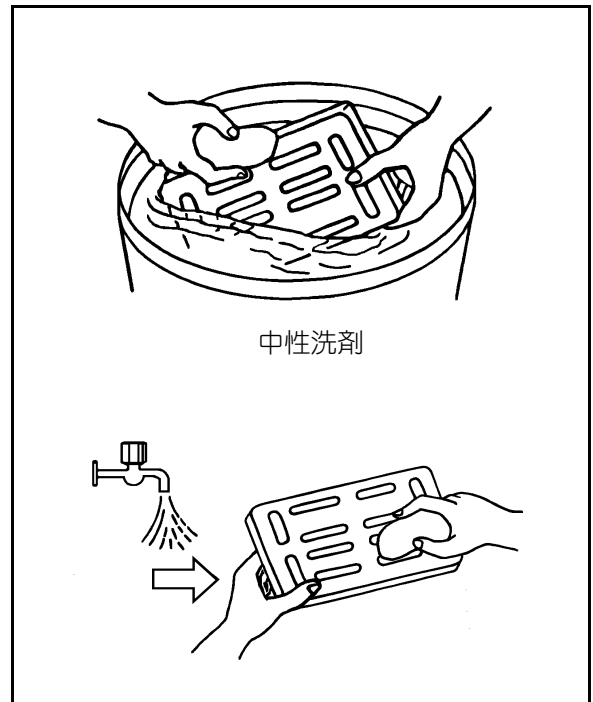
(10)配管内のリンスを実施します。

詳細はP 5 - 1 3「配管内のリンスを実施します。」を参照してください。

基本的な洗浄の手順

原料、飲料とふれる部品は、常に清潔にしなければなりません。これらの部品を洗浄するときは、つぎの手順で行ってください。

- ①洗浄するためにはずした部品を水洗いしてください。
- ②中性洗剤を投入した容器内で、充分ブラシ洗浄した後、簡単に水洗いしてください。
- ③中性洗剤の溶液中に10分間浸漬してください。
- ④中性洗剤が完全になくなるまで水道水で充分水洗いしてください。
- ⑤乾燥を必要とする部品(豆キャニスタなど)は乾いた布で水分を拭き取った後、充分乾燥してください。



毎日の清掃

清掃用具一覧

白し型ブラシ
ミル粉ガイド清掃用



白ブラシ
フィルターブロック清掃用
(飲料が触れる箇所専用)



黒ブラシ
ブリュア周辺
ダクト清掃用
(汚れるところ)



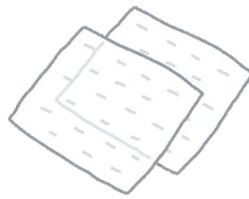
細白ブラシ
ノズル穴清掃用



中性洗剤



布巾



スポンジ



毎日取りはずして洗浄する部品一覧

[!] 清掃指定部品以外の部品を取りはずさないでください。故障の原因になります。

[!] 食洗器は使用しないでください。部品破損の原因になります。

シリンダ



コーヒートラップ



置台、スノコ



グラウンズ容器



排水トレイ



毎日の清掃

毎日の清掃は、1日に1度確実に実施してください。

清掃手順	
(1)	ミル粉ガイドの清掃
(2)	シリンダの取りはずし、フィルタ周辺の清掃
(3)	グラウンズ容器の取り出し、グラウンズ廃棄
(4)	コーヒートル取りはずし
(5)	排水トレイの取りはずし
(6)	スノコ、置台の取りはずし
(7)	販売ステージ周辺の清掃
(8)	本体庫内、本体外側の清掃
(9)	取りはずした部品の洗浄
(10)	取りはずした部品の取り付け
(11)	配管内のリンスの実施

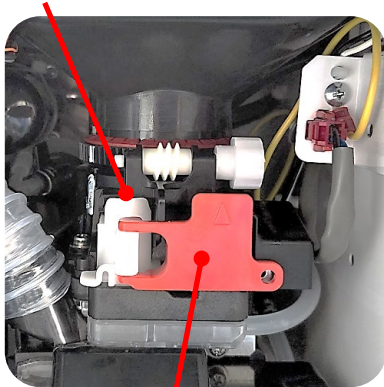
(1)ミル粉ガイドの清掃

①本体扉を開け、ミル粉ガイド裏の穴に乾いた白L型ブラシを上から挿します。

②上下に動かし、内部に付着している粉を清掃します。

※ミル周辺の飛散した粉は黒ブラシを使って清掃してください。

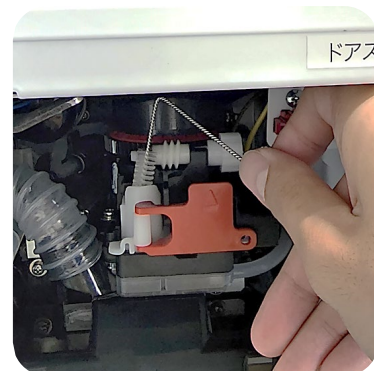
ブラシ挿入口



ミル粉ガイド



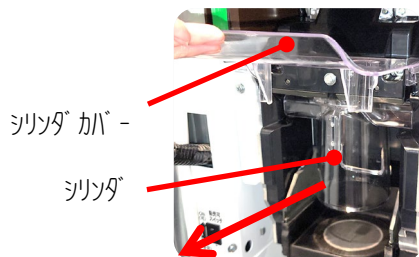
白L型ブラシ



(2)シリンダの取りはずし、フィルターブロック周辺の清掃

①シリンダカバーを上を開け、シリンダを手前に取りはずします。

②付属している白ブラシを使い、フィルタ周辺の汚れを取り除きます。



シリンダカバー

シリンダ



白ブラシ



フィルタ

毎日の清掃

(3) グラウンズ容器を取出し、グラウンズを捨てます。



グラウンズ 容器

[!] 清掃を怠りますと、カビ、異臭が発生したり、悪臭により設置環境が損なわれることがあるので常に洗浄してください。

P 5 - 0 2 「(1) グラウンズ容器満杯時の対応」①を参照してください。

(4) コーヒーノズルを取りはずします。

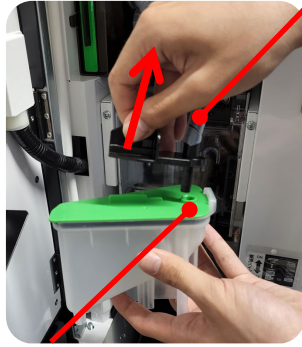
① コーヒーノズル本体を少し持ち上げ、手前に引いて取りはずします。

② 本体からコーヒーノズルに伸びているコーヒーホースを抜きます。

③ コーヒーノズルについているフタを取りはずします。



コーヒーノズル



フタ



[!] コーヒーホースをはずす際、残ったコーヒーが垂れる可能性がありますのでご注意ください。

(5) 排水トレイを取りはずします。

扉下側にある排水トレイを取り出します。



排水トレイ

[!] 清掃を怠りますと、カビ、異臭が発生したり、悪臭により設置環境が損なわれることがあるので常に洗浄してください。

(6) スノコ、置台を取りはずします。

扉正面のステージカバーを開け、スノコと置台を取ります。



毎日の清掃

(7)販売ステージ周辺を清掃します。

- ①湯を含ませた布巾をよく絞り、ステージカバーおよびステージ内側、カップ有無検知センサ周辺の汚れを拭き取ります。
- ②その後、乾いた布で水分を拭き取ります。



カップ 有無検知センサ部

[!] センサ部が汚れていると販売に支障が出るため
しっかり清掃してください。

[!] ステージカバーに水が溜まっている場合は、機外
に漏れないよう拭き取ってください。

(8)本体庫内、本体外側の清掃をします。

グラウンズ容器の底面等、機械内部の汚れを布巾できれいに清掃します。
本体、タッチモニタ部も同様に汚れがある場合は拭き取ります。

- ①内部の原料こぼれは布巾で吸い取り、内外部の汚れがあれば、湯を含ませた布をよくしぼり、汚れている所を拭き取ります。
- ②その後、乾いた布で水分を拭き取ります。



[!] アルコール溶剤系の洗剤は使用しないでください。

(9)取りはずした部品を洗います。

シリンダ、グラウンズ容器、ノズル、排水トレイ、スノコ、置台を洗います。
※コーヒノズルはフタをはずして本体と別々にしてください。
※ノズル穴は細白ブラシで清掃します。
ぬるま湯または中性洗剤をつけたスポンジ等で洗い、しっかりと水気を切ります。

[!] 清掃を怠りますと、カビ、異臭が発生したり、悪臭により設置環境が損なわれることがあるので常に洗淨してください。



細白ブラシ



(10)取りはずした部品を取りつけます。

- ①シリンダを取りつけます。
シリンダカバーを開けシリンダを装着し、シリンダカバーを閉めます。

[!] シリンダは「てまえ」ラベルが貼付けてある方を、手前にして取つてください。

取手（手前側）
バル有

黒色部（奥側）



毎日の清掃

(10)取りはずした部品を取りつけます。(つづき)

②グラウンズ容器をセットします。



グラウンズ容器をセットして、リモコンの[カスリセット]ボタンを押します。
 ※ピッと音が鳴ったらグラウンズ容器のリセットが完了です。
 ボタン上のグラウンズ容器満杯ランプが消灯します。



グラウンズ容器

[!] グラウンズを廃棄せずにリモコンの[カスリセット]ボタンを押すと販売に支障をきたす恐れがあります。

[!] グラウンズ容器を本体より完全に取り出さないと[カスリセット]ボタンでリセットできません。
必ず一度グラウンズ容器を取り出してください。

[!] 販売に支障をきたす恐れがありますので、ビニール袋などを使用しないでください。

③コーヒートラックを取付けます。

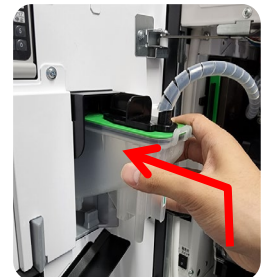
- 1) コーヒートラック本体にトラックフタを取りつけます。
フタの突起を本体の穴に差し込んで、しっかりと閉めてください。
- 2) 本体から出ているコーヒートラックをコーヒートラックに差し込みます。
- 3) トラックフタを上部にあてながら水平に入れ、下に差し込みます。



コーヒートラック本体



しっかりと閉める



④排水トレイを元の位置に戻します。



⑤スノコと置台を元の位置に戻します。



[!] 置台奥側のストッパを、必ず販売ステージ部の溝にひっかけてください。
ひっかけていない場合、置台が手前側に倒れてしまう場合があります。

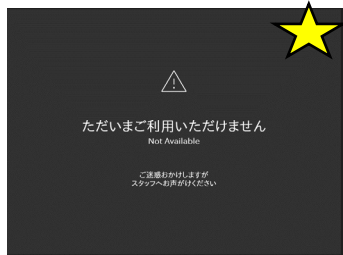
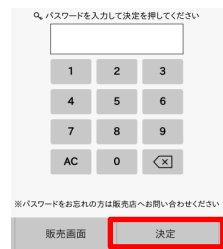



[!] スノコは置台にズレなくセットしてください。
機外への液漏れの原因になります。

毎日の清掃

(11)配管内のリンスを実施します。

①モニタで操作します。


[!] 本体扉を必ず閉めた状態でリンス操作をしてください。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、販売画面右上の角(★)を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	項目の中から「手動リンス」を選んでタッチします。	
4	「リンス開始」をタッチします。 [!] 「リンス開始」が表示されない場合は、画面右側に表示される内容を確認してください。	
5	リンス中は右の画面が表示されます。(約1分程度) [!] リンス実施中は絶対に扉を開けないでください。	

毎日の清掃

(11)配管内のリンスを実施します。(つづき)

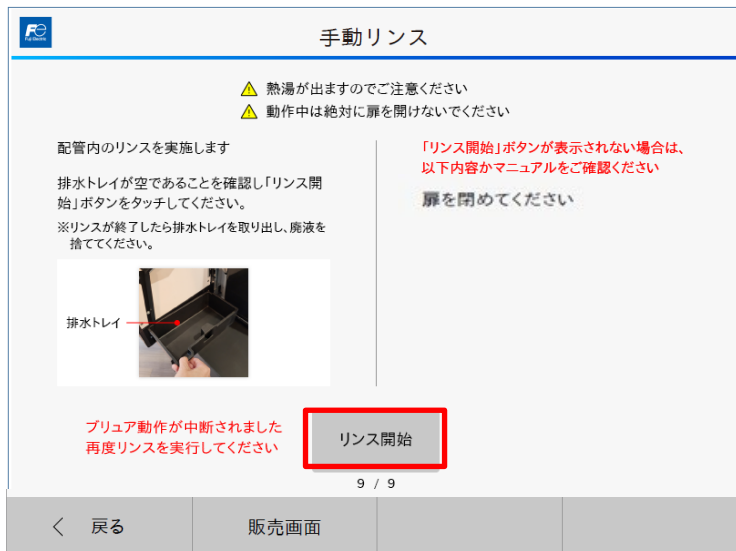
①モニタで操作します。(つづき)

<p>6 リンスが終了すると、手動リンス開始画面に戻ります。 ※下の「販売画面」をタッチして販売画面に戻ります。</p> <p>排水トレイにたまった廃液を捨て、元の位置に戻します。 リンスで使用した廃液が排水トレイにたまるため、廃液を捨て、中性洗剤を使用してスポンジ等で洗って元の位置に戻してください。</p>	
---	---

2 8時間以内に手動リンスを実施しない場合、アラームでお知らせします。販売は可能ですが、衛生面の観点や飲料の味への影響がありますので、定期的に手動リンスをお願いします。

[!] リンス中に扉を開けると安全機能が働き、リンスが中断します。モニタがリンス画面に戻り、[ブリーア動作中断されました。再度リンスを実施してください]と赤字でメッセージが表示されます。再度リンス開始ボタンを押して、リンスを完了させてください。

リンス中に扉開でリンス動作を中止し、扉閉で下画面が表示されます。再度リンス開始をタッチしてください。



週1回の清掃

※毎日の清掃を行ったあと実施してください。

メンテナンス画面に入り、清掃手順⇒週に一度のお手入れ


清掃手順	
(1)	排気ファン停止
(2)	排気ファンフィルタの清掃
(3)	豆キャニスタ（上部）の清掃
(4)	スクレーパの清掃
(5)	薬剤リンス

取りはずして清掃する部品一覧

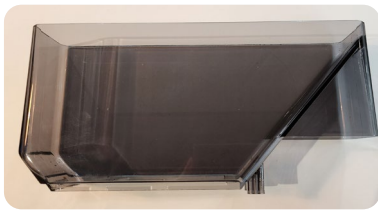
[!] 清掃指定部品以外の部品を取りはずさないでください。故障の原因になります。

[!] 食洗器は使用しないでください。部品破損の原因になります。


排気ファンフィルタ



キャニスタ上部

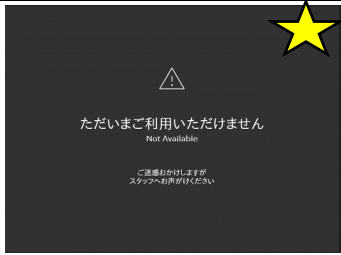
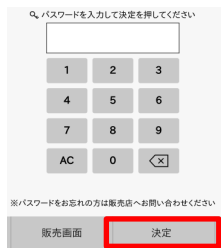



スクレーパ



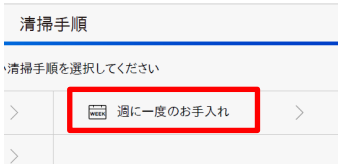
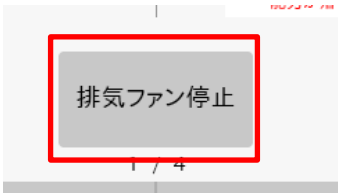
(1)排気ファンの停止

①モニタで操作します。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、扉開画面右上の角（★）を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	項目の中から「清掃手順」を選んでタッチします。	

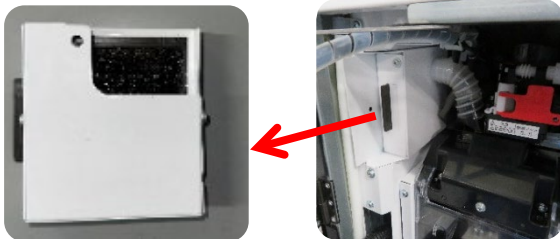
週1回の清掃

(1)排気ファンの停止(つづき)

4	項目の中から「週に一度のお手入れ」を選んでタッチします。	
5	モニタ画面下部の「排気ファン停止」をタッチし、ファンモータが停止したのを確認してください。	

(2)排気ファンフィルタの清掃

①排気ファンフィルタを手前に引いて取りはずします。



排気ファンフィルタ

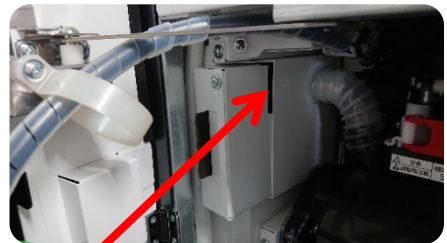
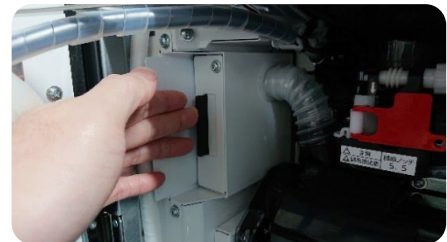
②排気ファンフィルタ内のコーヒー粉を捨ててから、取りつけてください。

[!] 排気ファンフィルタ取り付け時、奥に突き当たるまで差し込んでください。

[!] 排気ファンフィルタを奥まで差し込まないと、吸い込み風量の低下によるコーヒー粉の詰まりや飛散の原因になります。

[!] ファン停止を押さずに、排気ファンフィルタをはずすと機械底面(左側)からコーヒー粉が飛散しますのでご注意ください。

[!] 排気ファンフィルタにコーヒー粉が溜まっていると排気能力が下がり、原料詰まりの原因となります。

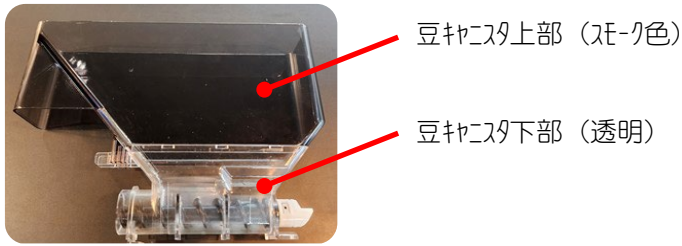


奥まで差し込めていない状態

週1回の清掃

(3)豆キャニスタ(上部)の清掃

豆キャニスタ内の豆が、豆キャニスタ上部（スモーク色）にない状態で作業を行ってください。



[!] 豆キャニスタが豆吐出動作中に、キャニスタ内に手を入れないでください。指が挟まれて怪我をする恐れがあります。

- ①本体扉を開け、天板（前側）の固定ねじ（1本）をゆるめ、天板（前側）を手前にスライドさせます。豆キャニスタ下部の前面にあるつまみを両サイドからつまみ、豆キャニスタ上部を手前にスライドさせて取りはずします。



[!] 天板をスライドするときに扉側のマグネットとの干渉に注意してください。

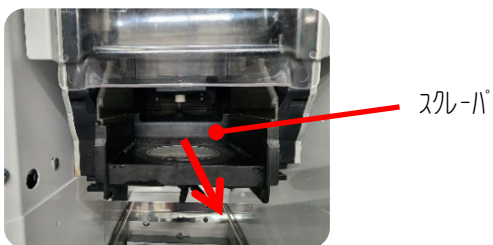
- ②ふたと豆キャニスタを、中性洗剤をつけた柔らかいスポンジを使って汚れを洗い落とします。その後、乾いた布で水分を拭き取り、充分乾燥させてから元の状態に取り付けます。カチッと音が鳴り、上下で隙間がないのを確認してください。

[!] 固いスポンジ等でキズをつけないように注意してください。

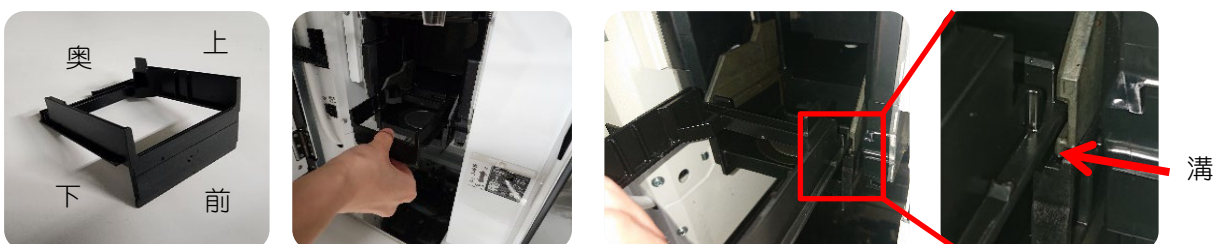
[!] 天板を手前にスライドさせた状態で扉を閉めないでください。扉側のマグネットもしくは天板が破損する恐れがあります。

(4)スクレーパの清掃

- ①フィルタ奥にあるスクレーパを手前に引き出し取りはずします。



- ②スクレーパを、中性洗剤をつけた柔らかいスポンジを使って汚れを洗い落とします。乾いた布で水分を拭き取り、充分乾燥させてから溝に挿入しながら元の状態に取り付けます。



[!] スクレーパの向きに注意してください。

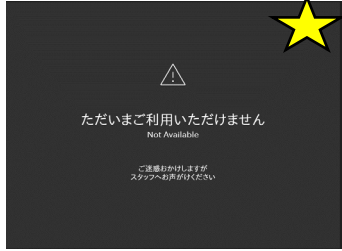
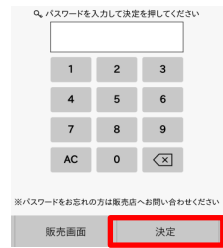

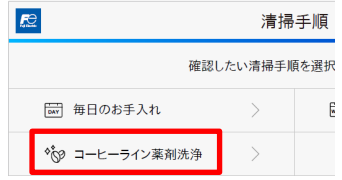
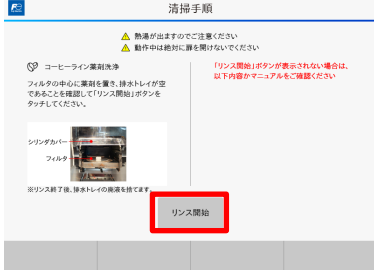

週1回の清掃

(5)薬剤リンス

専用のタブレット洗剤（薬剤）を使用し、コーヒーラインの洗浄を実施します。

①モニタで操作します。


[!] 本体扉を必ず閉めた状態でリンス操作をしてください。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、扉開画面右上の角（★）を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	項目の中から「清掃手順」を選んでタッチします。	
4	項目の中から「コーヒーライン薬剤洗浄」を選んでタッチします。	
5	フィルタの中心に薬剤を置き、排水トレイが空であることを確認して「リンス開始」をタッチします。 [!] 薬剤は富士電機推奨品を必ず使用してください。 [!] 「リンス開始」が表示されない場合は、画面右側に表示される内容を確認してください。	
6	リンス中は右の画面が表示されます。（約5分程度） [!] リンス実施中は絶対に扉を開けないでください。 [!] リンス実施中に扉を開けた場合はリンスが中断します。薬剤を置かずにリンスを再開してください。	

リンスの説明

(5)薬剤リンス(つづき)

①モニタで操作します。(つづき)

7	<p>リンスが終了すると、コーヒーライン薬剤洗浄の画面に戻ります。</p> <p>※下の「販売画面」をタッチして販売画面に戻ります。</p> <p>排水トレイにたまった廃液を捨て、元の位置に戻します。</p> <p>リンスで使用した廃液が排水トレイにたまるため、廃液を捨て、中性洗剤を使用してスポンジ等で洗って元の位置に戻してください。</p>	
---	--	---

週に1度、薬剤によるリンスを実施しないとアラームが鳴ります。販売は可能ですが、衛生面、コーヒーの美味しさを保つためリンスの実施を推奨します。

※薬剤の種類により、リンスサイクルは変わります。アラームが鳴らない場合もありますので詳細はお買い上げの販売店にお問合せください。



リンス中に扉を開くとリンス動作を中止し、扉閉で下画面が表示されます。再度リンス開始をタッチしてください。




6. タッチモニタの使い方(店舗編)

メンテナンス画面説明

①モニタで操作します。

No.	操作手順	
1	扉を開けた状態で、扉開画面右上の角(★)を3秒間長押ししてパスワード画面に入ります。	
2	パスワード画面が表示されますので「1234」を入力し、右下の「決定」をタッチします。	
3	メインメニュー画面が表示されます。	

メインメニュー画面



売切/故障
売切や故障の内容と解除方法がモニタで確認できます

清掃手順
毎日、週に一度のお手入れ、コーヒーラインの薬剤洗浄の手順を確認できます

音量・輝度・動画設定
販売音量やアラーム音量の設定、モニタの明るさ、動画の有無を設定できます

バージョン確認
本体マスター等のバージョン情報を表示します

手動リンス
コーヒーラインをお湯で洗浄する時に使います

販売確認
販売履歴、各レシピー毎の販売杯数が確認できます

オートリンス設定
お湯でのリンス時刻を1日2回まで設定できます

よくあるお問合せ
お問い合わせの多い項目を表示します。

売切/故障

売切れや故障の内容と解除方法がモニタで確認できます

※手動リンス28時間清掃未実施でも、項目が表示され解除が必要です。

※週に1度、薬剤によるリンスを実施しないと項目が表示されアラームが鳴ります。
販売は可能ですが、衛生面、コーヒーの美味しさを保つためリンスの実施を推奨します。

メインメニューで「売切れ/故障」をタッチします。

モニタ表示例（タッチすると表示画面が変わります）

メインメニュー		
現在時刻 9999 / 99 / 99 Su 99 : 99	湯温度 99 ℃	
☕ コーヒー 前回洗浄日時 9999 / 99 / 99 Su 99 : 99		
☕ コーヒー薬剤 前回洗浄日時 9999 / 99 / 99 Su 99 : 99		
● 売切/故障 >	手動リンス >	
清掃手順 >	販売確認 >	
音量・輝度・動画設定 >	オートリンス設定 >	
/		
< 戻る	販売画面	次へ >

売切/故障画面



売切/故障		
確認したい項目を選択してください		
001 メモリデータ異常 >	021 温水タンク過昇検知 >	
002 時計データ異常 >	022 沸騰検知 >	
006 10年メンテナンスアラーム >	030 プリユアフィルタブロック 上昇異常 >	
011 湯温度センサ不良 >	031 プリユアフィルタブロック 下降異常 >	
012 LCD温度センサ不良 >	034 ピンチクローズ異常 >	
013 圧力センサ不良 >	035 ピンチオープン異常 >	
/		
< 戻る	販売画面	

項目をタッチすると各解除方法が表示されます。

解除方法画面



売切 / 故障 解除方法		
000 XXXXXXXXXXXX		
時計データが未設定です。 【時計】キーにて現在時刻の設定を行ってください。		
/		

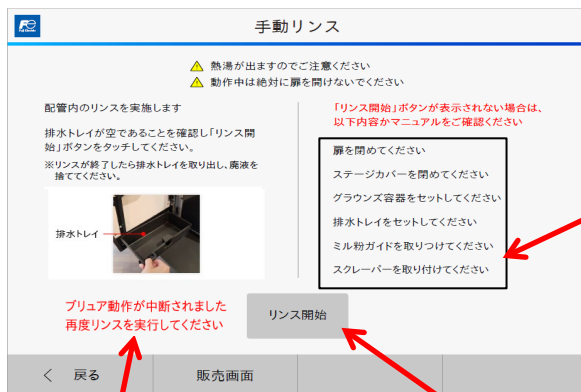
手動リンス

コーヒーラインをお湯で洗浄する時に使います

メインメニューで「手動リンス」をタッチします。



手動リンス画面



「リンス開始」が表示されない時は
ここを確認してください。

「リンス開始」

リンス中、誤って扉を開けると
リンスが中断し、モニタにメッ
セージを表示します。

※詳細は P 5 - 1 4 を参照してください。

清掃手順

毎日、週に一度のお手入れ、コーヒーラインの薬剤洗浄の手順を確認できます

メインメニューで「清掃手順」をタッチします。

メインメニュー			
現在時刻	/ /	:	湯温度 ℃
☕	コーヒー 前回洗浄日時	/ /	:
☕	コーヒー薬剤 前回洗浄日時	/ /	:
売切 / 故障	>	手動リンス	>
清掃手順	>	販売確認	>
音量・輝度・動画設定	>	オートリンス設定	>
/			

清掃手順画面

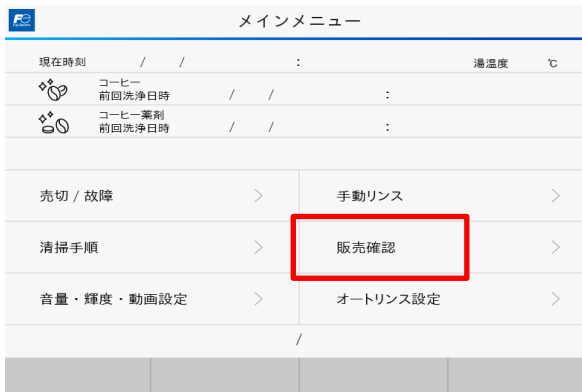


清掃手順			
確認したい清掃手順を選択してください			
☑	毎日のお手入れ	>	☑
	週に一度のお手入れ	>	
☕	コーヒーライン薬剤洗浄	>	
<	戻る	販売画面	

項目をタッチすると各清掃手順が表示されます。

販売確認

販売履歴、各レシピ毎の販売杯数が確認できます
メインメニューで「販売確認」をタッチします。



販売確認画面

確認したい項目をタッチします。



モニタ表示例

販売履歴

日付	時間	レシビ No	メニュー名
99/99	99:99	レシビ No 1	☕ オリジナルブレンドコーヒー S
99/99	99:99	レシビ No 2	☕ オリジナルブレンドコーヒー M
99/99	99:99	レシビ No 3	☕ オリジナルブレンドコーヒー L
99/99	99:99	レシビ No 4	☕ オリジナルブレンドコーヒー MEGA
99/99	99:99	レシビ No 5	☕ マイルドブレンドコーヒー S
99/99	99:99	レシビ No 6	☕ マイルドブレンドコーヒー M

< 戻る 販売画面 次へ >

直近30杯の履歴を確認できます。

販売杯数確認

メニュー名	累計杯数	期間杯数 9999/99/99~	期間クリア 長押し
合計	999,999 杯	999,999 杯	
レシビ No 1 ☕ オリジナルブレンドコーヒー S	999,999 杯	999,999 杯	
レシビ No 2 ☕ オリジナルブレンドコーヒー M	999,999 杯	999,999 杯	
レシビ No 3 ☕ オリジナルブレンドコーヒー L	999,999 杯	999,999 杯	
レシビ No 4 ☕ オリジナルブレンドコーヒー MEGA	999,999 杯	999,999 杯	
レシビ No 5 ☕ マイルドブレンドコーヒー S	999,999 杯	999,999 杯	

< 戻る 販売画面 次へ >

各レシピの累計杯数と期間杯数が表示されます。期間クリア長押しを実施すると、クリアした日から再度杯数をカウント開始します。一度クリアすると過去にさかのぼって確認することはできません。

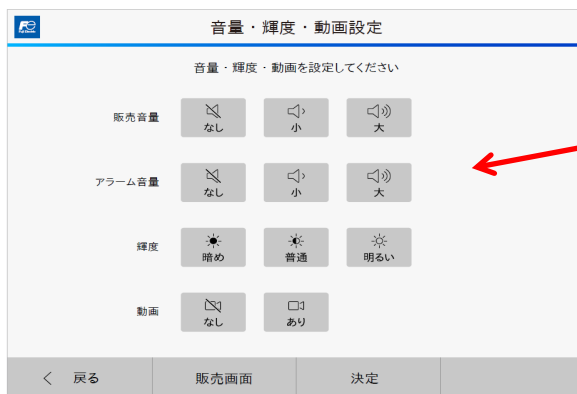
音量・輝度・動画設定

販売音量やアラーム音量の設定，モニタの明るさ，動画の有無を設定できます

メインメニューで「音量・輝度・動画設定」をタッチします。



音量・輝度・動画設定画面



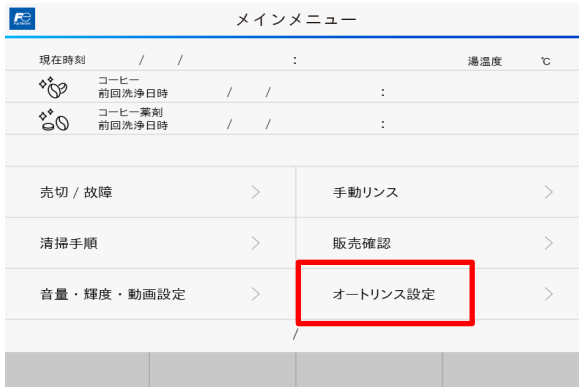
現在設定されている
項目が黒く反転します



オートリンス設定

お湯でのリンスを自動で行います

メインメニューで「オートリンス設定」をタッチします。



※電源スイッチ（漏電遮断器）OFF，販売可スイッチOFFの状態ではリンスが実行されません。

※1回目のオートリンス実施後，次のリンスまで販売が無い場合，オートリンスは実行されません。

※ヒータ省エネモードをONにしている場合は，湯温度が低くなりリンス効果が低下する場合があります。

※ステージ扉をはずして運用されている場合，オートリンスの設定はできません。

オートリンス設定画面



「0回」をタッチすると時間表示が消えます
「1回」をタッチすると1回目の時間設定が表示されます。
「2回」をタッチすると2回目の時間設定が表示されます。

「設定」をタッチすると各時間を変更できます

時間変更画面



バージョン情報

本体マスター等のバージョン情報を表示します

メインメニューで「バージョン情報」をタッチします。



バージョン情報画面



よくあるお問合せ

お問い合わせの多い項目を表示します。

メインメニューで「よくあるお問合せ」をタッチします。

メインメニュー	
現在時刻	/ / : 湯温度 ℃
☕	コーヒー 前回洗浄日時 / / :
☕	コーヒー薬剤 前回洗浄日時 / / :
売切 / 故障 >	手動リンス >
清掃手順 >	販売確認 >
音量・輝度・動画設定 >	オートリンス設定 >
/	
次へ >	



メインメニュー		
現在時刻	9999 / 99 / 99 Su 99 : 99 湯温度 99 ℃	
☕	コーヒー 前回洗浄日時 9999 / 99 / 99 Su 99 : 99	
☕	コーヒー薬剤 前回洗浄日時 9999 / 99 / 99 Su 99 : 99	
バージョン情報 >	よくあるお問合せ >	
/		
< 戻る	販売画面	次へ >

よくあるお問合せ画面



よくあるお問合せ	
確認したい項目を選択してください	
コーヒーの量が少ない、多い >	コーヒーが薄い、お湯しか出ない >
庫内にコーヒーが漏れている >	容器を置いて画面をタッチしても販売が始まらない >
グラウンズ容器が満杯ではないのに満杯エラーが出る >	カスリセット(リモコン)ができない >
グラウンズ容器にお湯がたまる >	モニターが熱くなるブラックアウトになる >
/	

項目をタッチすると各内容が表示されます。

7. 定期メンテナンス

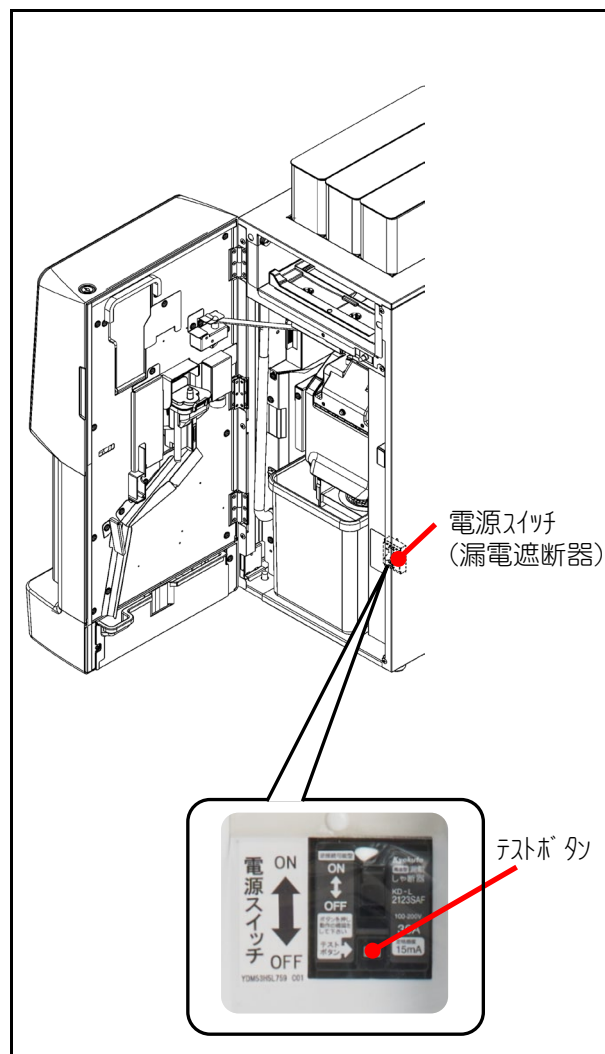
点検のしかた

(1)表示

- ①商品を補充するたびに、本機に取付けられている各種「警報表示銘板」が損傷していないか調べてください。
- ②損傷している場合は、補修または交換をしてください。

(2)電源スイッチ(漏電遮断器)

- ①テストボタンを押してレバーが「OFF」になれば正常です。



製品に関するお問い合わせ、サービス・修理のご用命は
FMIコールセンター **TEL03-5561-6521** へご連絡ください。

FMIコーヒーマシン

CT-ONE

富士電機株式会社

- 発行 2023-10
- 仕様等の変更により本資料の内容が機械と一致しない場合がありますのでご了承ください。
- 本資料を無断で複製転載することを禁じます。

MF23-003